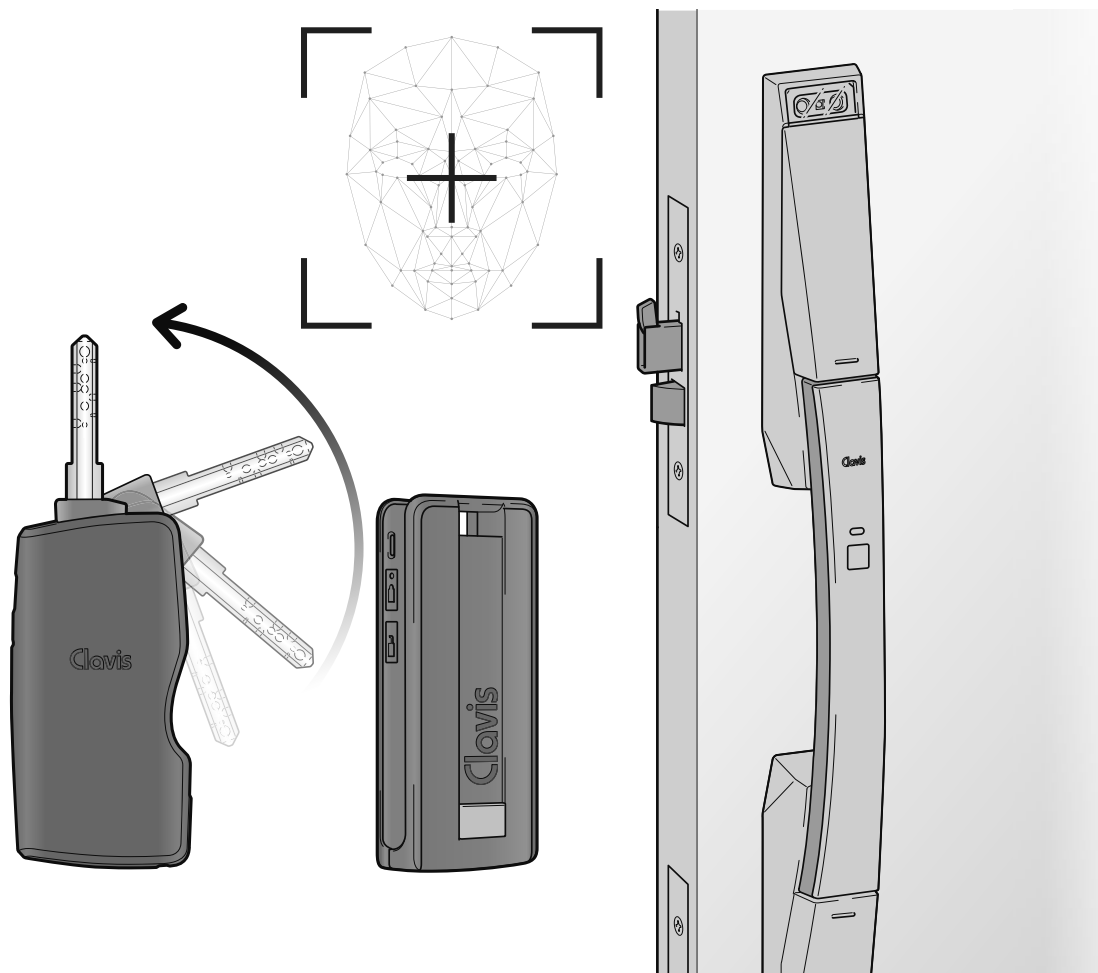


Tebra FACE plug 取扱説明書



■オプション

警備連動機能

※ お客様のご住居に設定されている方のみ、お読みください。

保存版

- このたびは当社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご使用前に取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。
- 製品を末永く安全にお使いいただくために、「お使いになる前に」を必ずお読みください。
- 取扱説明書はいつでもお読みになれるように、大切に保管してください。

目次

お使いになる前に

安全上のご注意	1
電気錠システムの取り扱い	1
TF カード（カードキー）の取り扱い	3
錠前の一般的な取り扱い	3
顔認証のご注意.....	4
2 ロックセキュリティ機能	4
ハンズフリーキーのスリープ機能	5
解錠アシスト機能	5
盗難・悪用防止のために	6
お手入れについて	6
各部の名称	7
ハンズフリーキーについて.....	10
非接触キーについて	11
顔認証について.....	12
各認証方法について	13

使用方法

ハンズフリー操作による施錠／解錠 シングル認証	14
タッチ操作による施錠／解錠 シングル認証	15
FACE キーによる施錠／解錠 シングル認証 ダブル認証	16
Tebra 認証キーの登録方法	18
Tebra 認証キーの抹消方法	23
※ Tebra 認証キー：非接触キー・ハンズフリーキー・FACE キー	

オプション

操作電源盤について	25
警備連動機能について.....	26

お困りのときは




ハンズフリーキーの電池切れ警告について	28
ハンズフリーキーの電池交換／カラーチップの取り付け	29
本体の電源供給の特性	30
Tebra 認証キーを紛失した場合	31
停電で作動しない場合	31
故障かな？とお考えになる前に	32
仕様	37
保証書	38

安全上のご注意

ここでは次の説明をしています。ご使用前に必ずお読みください。


- 人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただきたいこと
- 電気錠システム特有の注意事項


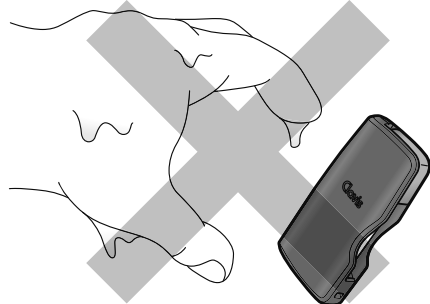
■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。


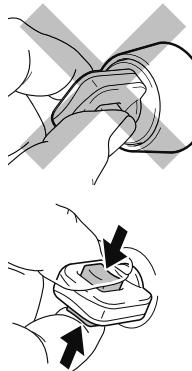
 危険	「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。
 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「傷害を負ったり財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

お使いになる前に

電気錠システムの取り扱い

 危険	植込み型医療機器（心臓ペースメーカーなど）を装着されている方が使用する場合は、リーダ部（ 7ページ ）から植込み型医療機器の装着部位を 22cm 以上離して使用してください。 また、電波による医療用電気機器への影響については、担当医師や医療用電気機器製造業者などにご確認ください。
---	---

 警告	<ul style="list-style-type: none">● 精密な電子部品などを使っていますので分解や改造をしたり、強い衝撃を与えないでください。 感電や故障の原因となります。また、分解・改造した物は保証対象外となります。● Tebra 認証キー（8ページ）を水に濡らしたり、濡れた手で扱わないでください。 感電や故障の原因となります。● 散水による水洗いは避けてください。 また、雨露の直接かからない場所でお使いください。 感電や故障の原因となります。 
---	---

 注意	<ul style="list-style-type: none">● 作動中（サムターンの回転中）およびブザーが鳴っている間は、ハンドル・サムターンを操作しないでください。 作動完了前（ブザーが鳴り終わる前）にハンドル・サムターンを操作すると故障の原因となる場合があります。● 仮に、作動完了前にサムターンを操作した場合、サムターンが重くなってしまう可能性があります。その際は、サムターンの上下のボタンを指でしっかりと押した状態で回してください。 
---	---

電気錠システムの取り扱い（続き）

- 複数の Tebra 認証キーを同時に使用すると、作動・反応が遅くなったり、作動しない場合があります。

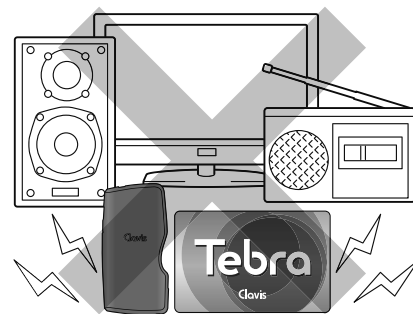
- 高温を避けて保管してください。

Tebra 認証キーの変形、破損、読み取り不良の原因となります。車の中に長時間放置したり、車のダッシュボードなど、直射日光下で高温になるような場所に Tebra 認証キーを置かないでください。

- Tebra 認証キーを電化製品の近くに放置したり、磁石（磁性のある物を含む）に近づけないようにしてください。読み取り不良や著しい電池消耗の原因となります。

例：影響のある主な電化製品＜常時 1 m 以上離すのが望ましいもの＞

テレビ、ラジオ、スピーカー、パソコン、電磁調理器、電気スタンド、充電中のコードレス電話機および携帯電話、医療用電気機器など



- 停電時は使用できません。停電時は手動操作でロックを施錠／解錠してください。（ 31 ページ ）

- 温泉地など特殊ガス発生地域、浴室などの多湿の場所では使用しないでください。故障の原因となります。

- 電池切れ警告が現れなくても、ハンズフリーキーは 2 年ごとに新しい電池と交換してください。（ 29 ～ 30 ページ ）

- ・ 電池は指定の電池をご使用ください。
- ・ 電池の液漏れや腐食により故障の原因となる場合があります。
- ・ 電池の消耗時には、作動範囲が狭くなる場合があります。

- 玄関ドア周辺の電波環境（各種電気機器・ノイズなど）により、ハンズフリーキーの作動範囲が変わる場合があります。

ハンズフリーキーを携帯電話などと一緒に携帯しているときやハンズフリーキーが金属製のものに覆われたりしているときは、正常に作動しないことがあります。

- ハンズフリーキーが完全に静止していると、スリープ機能により施錠／解錠ができなくなります。（ 5 ページ ）

少し揺らしながらご使用ください。

- 航空機にハンズフリーキーを持ち込む場合は、航空機内でハンズフリーキーのボタンを押さないでください。また、カバンなどに保管する場合でも、簡単にボタンが押されないように保管してください。

ボタンが押されると電波が発信され、航空機の運行に支障をおよぼすおそれがあります。

- ドアが開いた状態でも施錠／解錠操作が可能ですが、ドアを開けたまま施錠／解錠操作しないでください。

施錠状態でドアを閉めるとドア枠を傷付けるおそれがあります。

⚠ 注意

TF カード (カードキー) の取り扱い



注意

TF カードを折り曲げたり、擦ったり、また強い衝撃を与えないように保管・携帯してください。

TF カードの破損や読み取り不良の原因となります。

錠前の一般的な取り扱い

- キーによる操作を長期間行わない場合、ホコリ等の影響でシリンダーの作動が悪くなる場合があります。1か月に2～3回程度、キーによる操作を行ってください。

万が一作動が悪くなっている場合は6ページに掲載されております「お手入れについて」をご参照ください。

- 鍵穴に異物（針金やマッチ棒など）を入れないでください。異物が詰まるとキーの操作ができなくなります。
- 錠のフロントプレートやストライク表面に保護シールが付いている場合は、必ずはがしてください。

そのまま放置すると、保護シールについている糊などの影響でサビが発生したり変色することがあります。

- コピーしたキーは使用しないでください。

キーの抜き差しや回転操作が悪くなり、シリンダーに悪影響をおよぼすおそれがあります。キーの追加購入については、マンション引き渡し書類の中でご案内している別紙『キーのアフターについて』に記載のサービス代行店までお問い合わせください。

- 施錠したときはハンドルを操作して確実に鍵がかかったことを確認してください。

- 経年劣化により戸先の垂れ下がり、ソリ、曲がり、歪みなどが生じて枠と接触し、錠がスムーズに動かない場合があります。

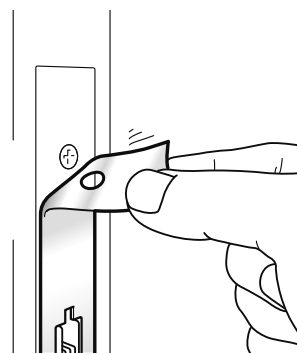
ドア全体の修理が必要となりますので、速やかに建築物の管理責任者・管理会社、施工業者または建具メーカーに連絡してください。

- 換気扇などの機械換気を行ったまま外出される場合は、換気口を必ず開けてください。

開けていないと、室内の圧力差によって玄関ドアが室内側に引っ張られるため、Tebra 認証キーによる施錠／解錠ができなくなることがあります。

- Tebra キーのアナログキーを取り出すとき・もどすときは必ず鍵操作ボタンを押してください。 (8 ページ)

無理に取り出し・もどす操作を行うと、破損の原因となります。



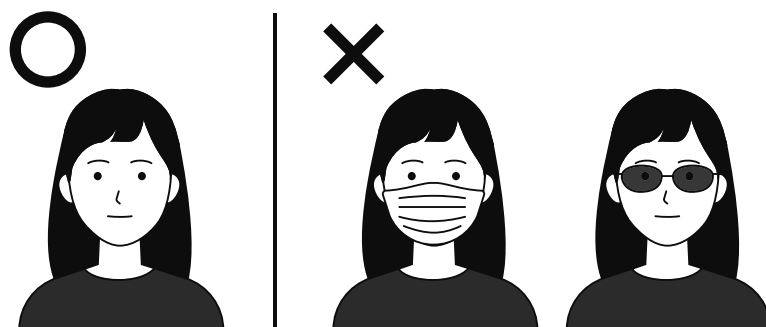
お使いになる前に



注意

顔認証のご注意

- マスクやサングラスなど顔を覆い隠すものを装着している場合や、顔写真・動画を使用した場合には、顔認証および顔登録することはできません。



- 眉毛が髪などで隠れないようにしてください。
- カメラとの距離が近い場合は、顔がカメラの正面に来るように意識してください。
- 双子の場合は、登録している認証方法を合わせてください。
認証方法を混在させると認証しづらい場合があります。
- 双子の場合は、もう一方の顔登録をしていなくてもロック解除ができる場合があります。
- 適時、顔の再登録をおすすめします。成長に伴い認証しづらくなる可能性があるため、定期的な顔登録を行ってください。
- 化粧をしても登録、認証が可能ですが、顔のパーツの形が大きく変化して見える化粧をしている場合、認証できないことがあります。
- 逆光の場合、顔を認証しづらくなる場合があります。
- カメラに複数人映り込まないようにしてください。
- カメラのレンズに水滴やほこり、汚れなどが付着していると認証しづらくなる場合があります。

2 ロックセキュリティ機能

以下の機能はピックアップなどによる不正解錠を完全に防止するものではありません。
万が一の場合の保証はございませんので、ご了承ください。

上下連動／子どもの閉じ込め防止機能

解錠状態時、上側のロックをキーまたはサムターンで手動施錠すると、下側のロックも連動し施錠されます。

施錠状態時、上側のサムターンで手動解錠すると、Tebra キーで認証をした場合のみ、下側のロックも連動し解錠されます。

- 次の場合は、連動して施錠されません。
 - ・ 下側のロックをキーまたはサムターンで手動施錠した場合
 - ・ 停電時
- 施解錠操作を素早く繰り返すと連動して施錠されない場合があります。間隔をあけてから、操作してください。

ハンズフリーキーのスリープ機能

ハンズフリーキーを6秒以上、静止状態で保持すると、電池の消耗を防ぐためにスリープ機能が働きます。

- スリープ機能が働いたハンズフリーキーは、作動範囲内であってもハンズフリー操作ができなくなります。

スリープ機能の解除

ハンズフリーキーを少し揺らしてください。



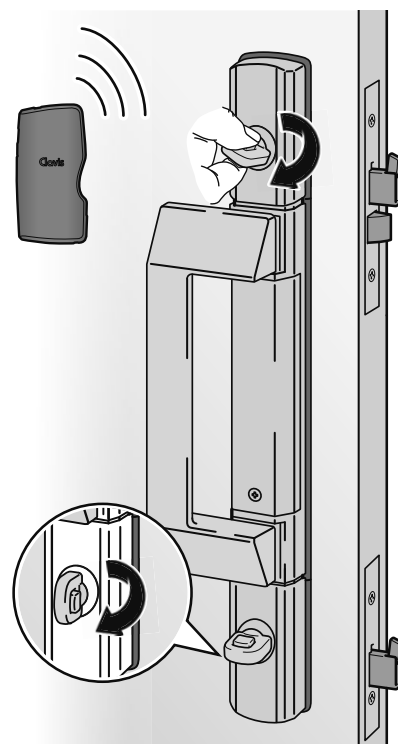
お使いになる前に

解錠アシスト機能

施錠状態時、ハンズフリーキーを持ったまま室内側から上側のロックをサムターンで手動解錠すると、下側のロックも連動し解錠されます。

次の場合は、連動して解錠されません。

- 下側のロックを、サムターンで手動解錠した場合
- 下側のロックが、すでに解錠状態の場合
- 停電時
- ハンズフリーキーの電池切れ時
- 施解錠操作を素早く繰り返すと、連動して解錠されない場合があります。
間隔をあけてから、操作してください。



盗難・悪用防止のために

- 施錠忘れによる盗難を防ぐため、施錠の確認は必ず行ってください。
- Tebra 認証キーまたはキーには、使用場所が分かる表示は付けしないでください。紛失したときに悪用されるおそれがあります。
- 普段お使いにならない Tebra 認証キーまたはキーは、使用時以外、大切に保管してください。
- Tebra タグ / Tebra one タグ / TL タグ / ToneL タグ / TF カードをご使用の方は、機器の故障、電池切れ・停電などに備え、必ずキーを持参してください。

お手入れについて

長期間、清掃しないままにしておくと、表面に付着した汚れはシミや腐食の原因となります。汚れが軽いうちに清掃してください。

- 清掃は少なくとも月に1～2回程度、実施してください。
- 特に海岸地帯や交通量の多い道路沿いは、塩分や排気ガスによる汚損が進みやすいので、こまめにお手入れをしてください。

お手入れ方法

製品の損傷、サビ、腐食、変色、カメラ部に汚れが付着して、顔認証ができなくなることを防止するため、次の方法で実施してください。

1 柔らかい布でやさしく乾拭きしてください。

強くこすらないでください。

2 落ちにくい汚れの場合は、中性洗剤を薄めた液を柔らかい布またはスポンジにしみ込ませてからよく絞って拭き取ってください。

- 洗剤の成分が残らないよう、十分に拭き取ってください。
- 中性洗剤の液や水が製品にかからないようご注意ください。
- サンドペーパー、堅いブラシ、シンナーなどの有機溶剤を使用しないでください。

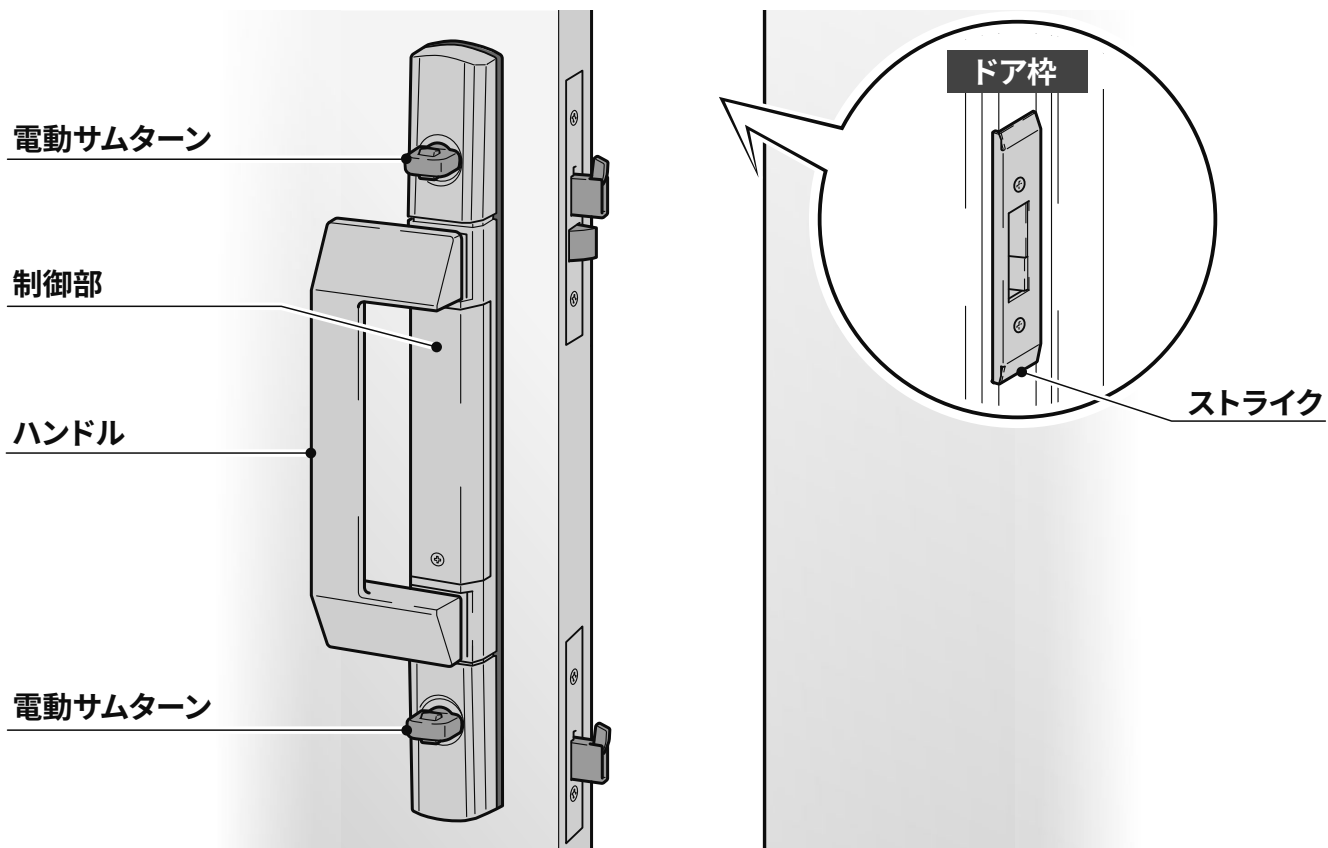


3 キーの抜き差しや回転操作が悪くなったときは、柔らかい芯の鉛筆（B～4B）の粉や黒鉛粉、またはシリンダー専用の潤滑剤（粉末タイプ、シリコーンを含まないタイプ）を使用してください。

- 鉛筆を使用する場合は、キーの切り込み面を鉛筆でなぞった後、キーで抜き差しを数回行ってください。
- 鍵穴には絶対に油を差さないでください。注入直後は操作が良好でもホコリを吸着し、かえって動きを悪くします。
- シリコーンを含む潤滑剤を使用しないでください。故障の原因となります。

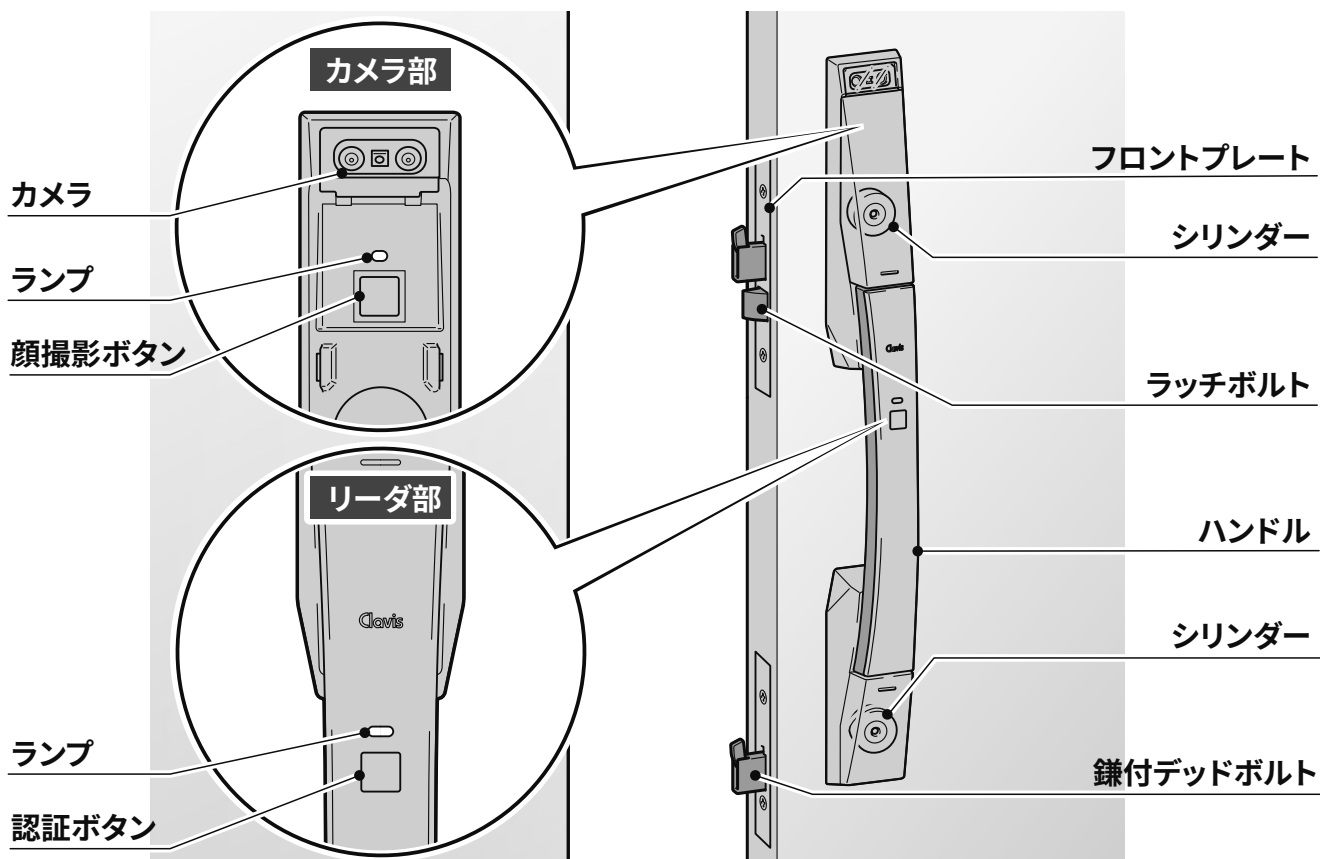
各部の名称

ドアまわり部品（室内側）



お使いになる前に

ドアまわり部品（室外側）



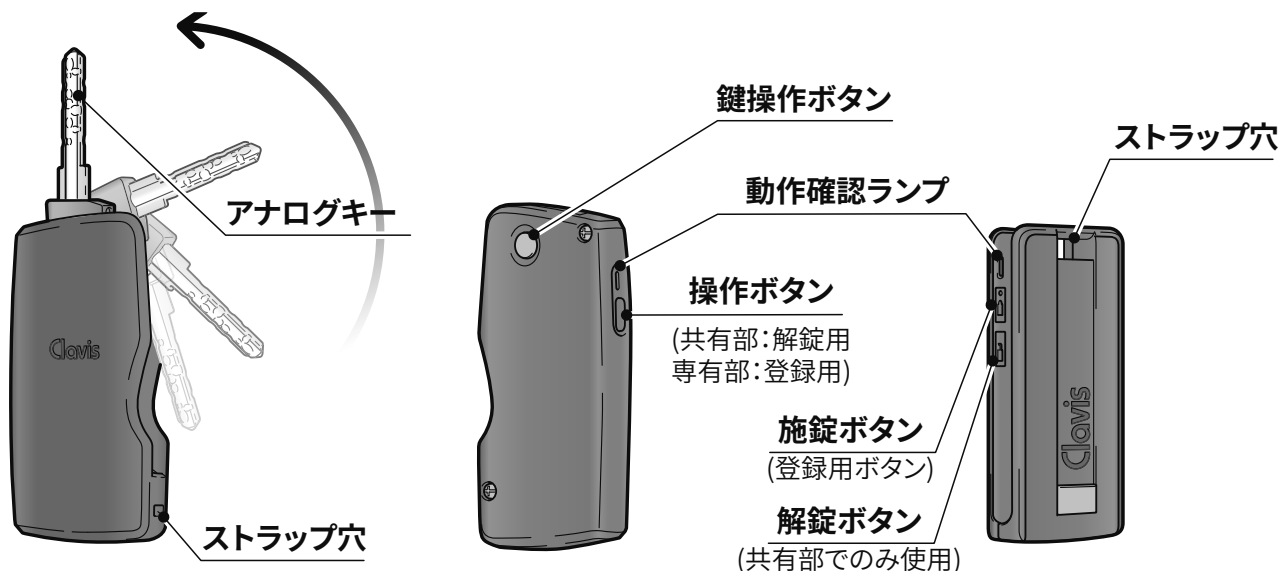
各部の名称 (続き)

Tebra 認証キー

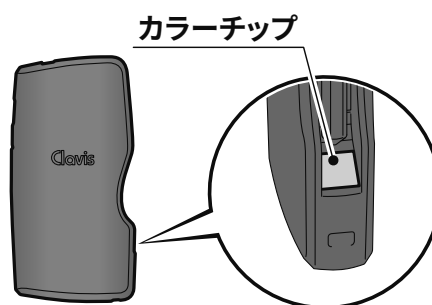
ハンズフリーキー

Tebra キー、Tebra one キー

Tebra タグ、Tebra one タグ



- ハンズフリーキーとは、Tebra キー / Tebra one キー / Tebra タグ / Tebra one タグの総称です。
 - アナログキーを出すときは、鍵操作ボタンを押します。
 - 使用後は、鍵操作ボタンを押しながらアナログキーを Tebra キー本体にもどします。無理にもどすと破損の原因となります。
 - 操作ボタンは共有部の解錠用、または専有部の登録用として使用します。施錠機能としては使用できません。(19 ページ)
 - キーの判別のため、付属のカラーチップを取り付けてください。(30 ページ)
- カラーチップ対応キー：Tebra キー / Tebraone キー



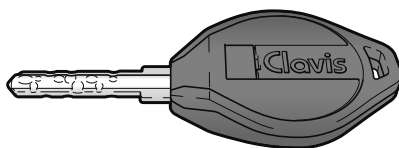
各部の名称 (続き)

非接触キー

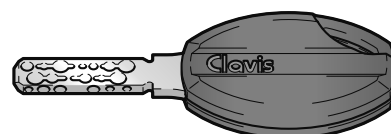
TF カード



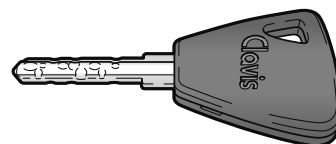
TF キー



TL キー、ToneL キー

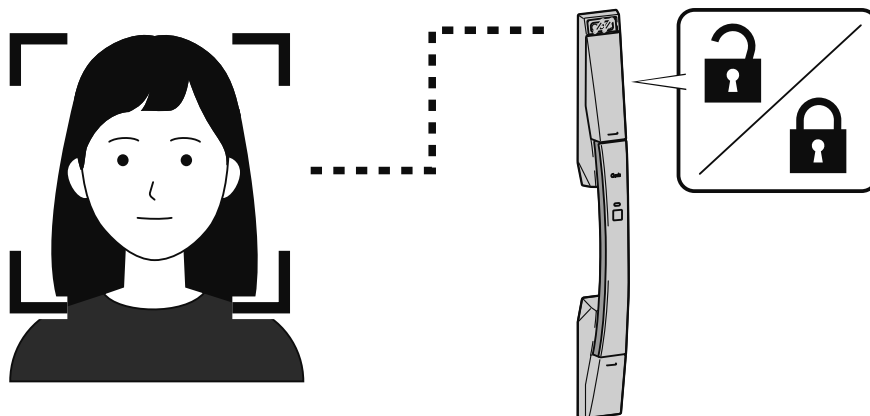


TL タグ、ToneL タグ



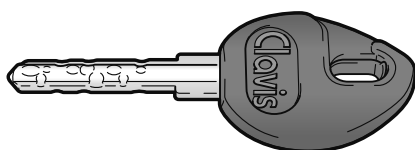
- 非接触キーとは、TF カード、TF キー、TL キー、ToneL キー、TL タグ、ToneL タグの総称です。

FACE キー



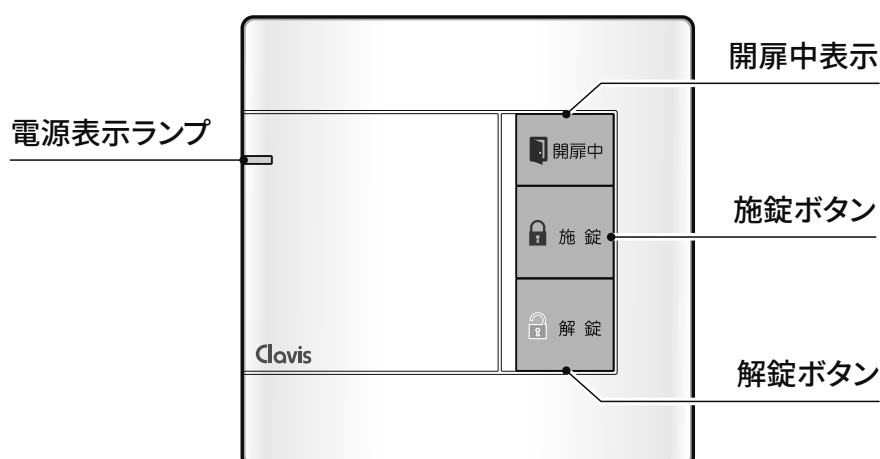
- FACE キーとは、顔認証を行うために登録した顔のことを指します。

キー※



※：電氣的な操作はできません。

操作電源盤 (オプション)



お使いになる前に

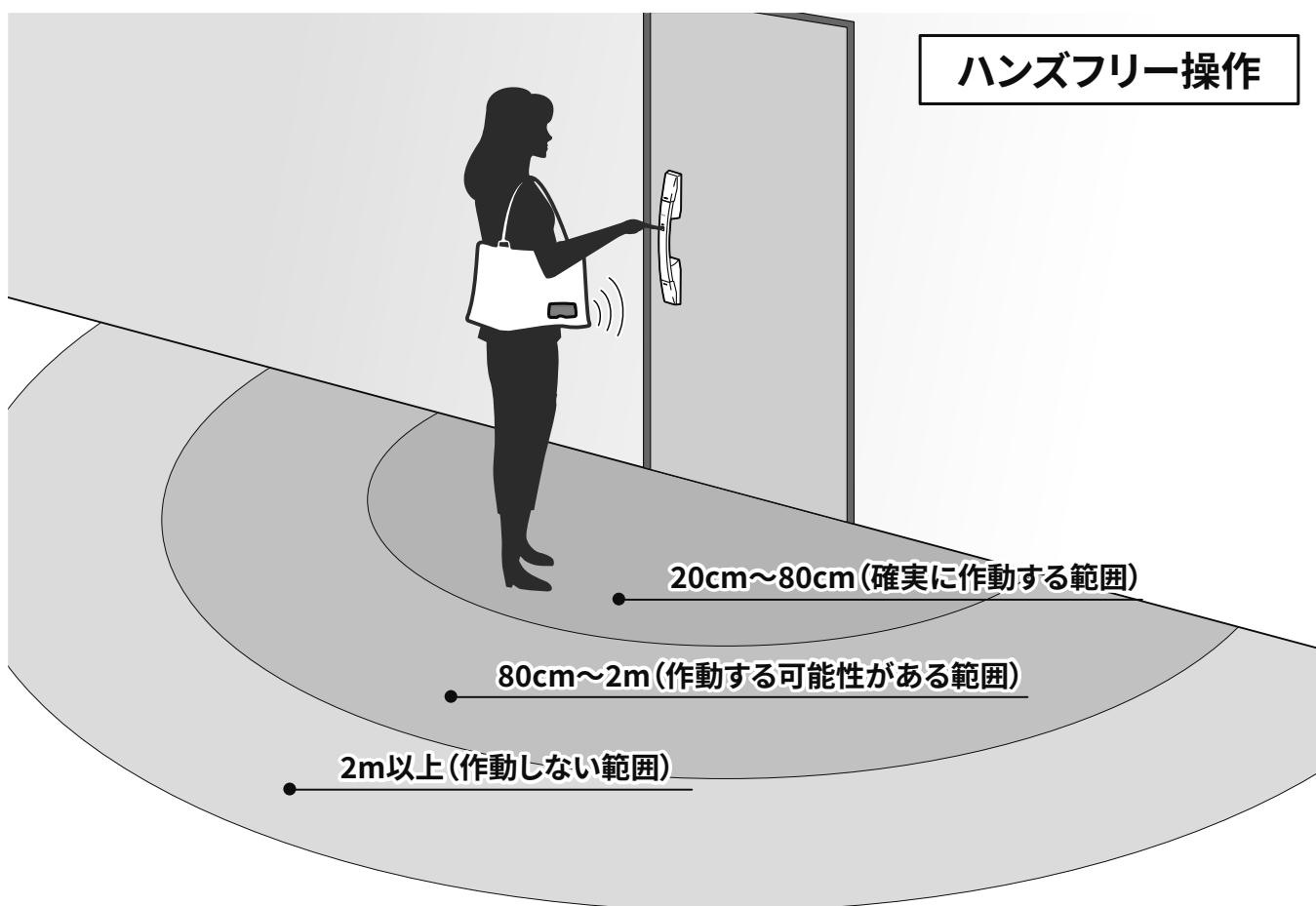
ハンズフリーキーについて

ハンズフリー操作

ハンズフリーキーがリーダ部の作動範囲内※にあれば、ハンズフリーキーをカバンなどに入れたままでもリーダ部の認証ボタンを押すだけで施錠／解錠ができます。

ハンズフリーキーを持ったままリーダ部の作動範囲内※に入り、リーダ部の認証ボタンを押します。

- 動作状況をランプおよびブザーでお知らせします。(14 ページ)
- ハンズフリーキーの揺れを検知していないとロックを施錠／解錠することはできません。ロックの施錠／解錠ができないときは、ハンズフリーキーを少し揺らしながらロックを施錠／解錠してください。



※：作動範囲は設置環境によって異なります。

キャンセル機能

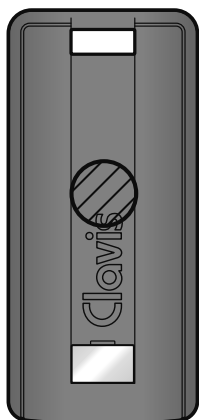
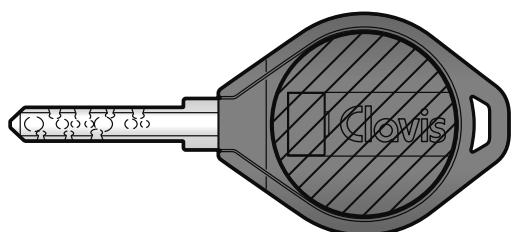
室内にあるハンズフリーキーに対して、室外からのハンズフリー操作を無効にし、誤って施錠／解錠されることを防止します。

非接触キーについて

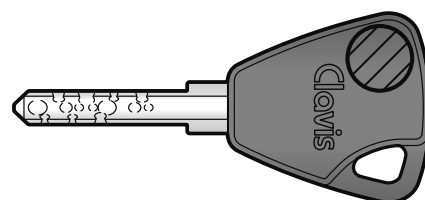
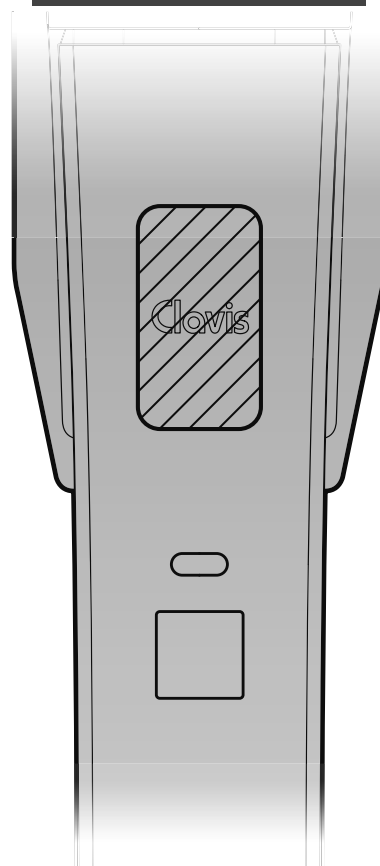
非接触キーの特性

非接触キーは IC チップを内蔵しており、リーダ部にかざすことで IC チップの情報を認証し、施錠／解錠を行います。


以下の領域でアンテナを形成しています。



ハンドルリーダ部



お使いになる前に

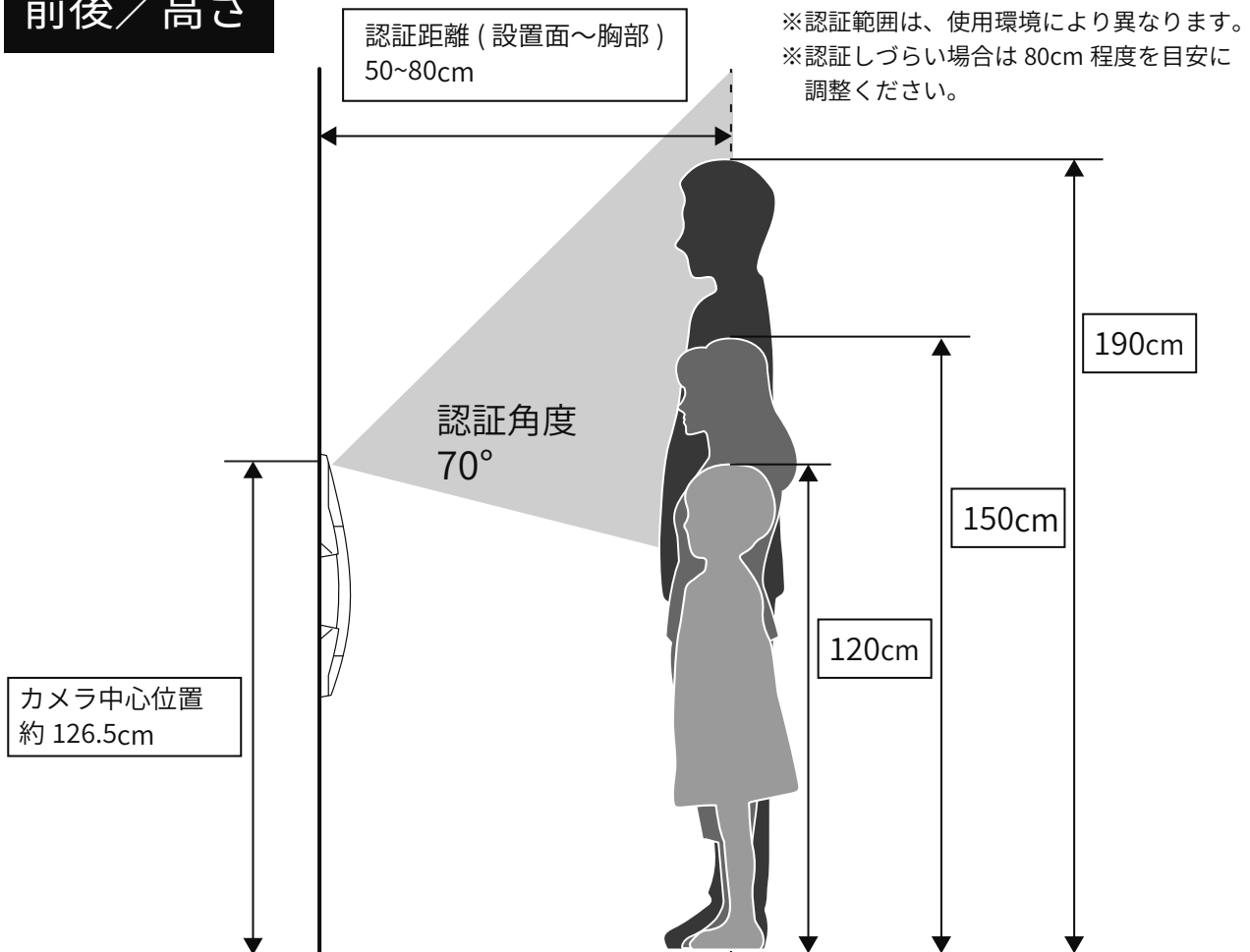
 非接触キー認証範囲

顔認証について

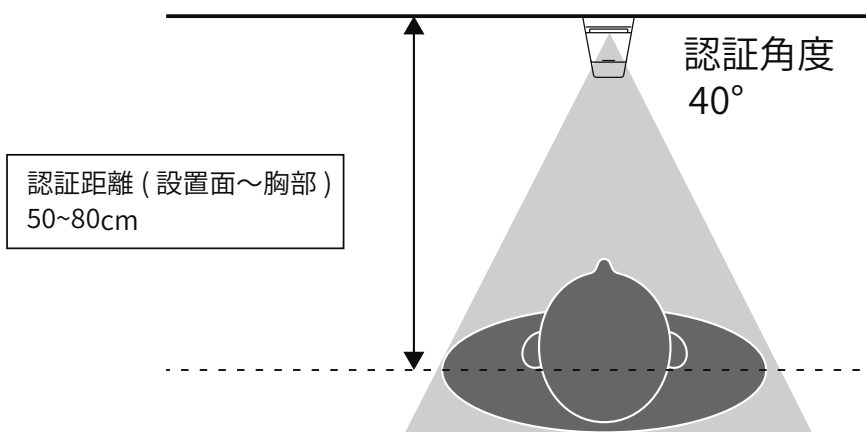
顔認証の特性

顔認証はカメラ部に顔を映して、登録している FACE キーと照合し、施錠／解錠を行います。

前後／高さ



左右



各認証方法について

シングル認証／ダブル認証について

認証方法には「シングル認証」と「ダブル認証」の2種類があります。

シングル認証とは、ハンズフリーキー、非接触キー、FACE キーのいずれかで施錠／解錠ができる認証方法です。(14～16 ページ)

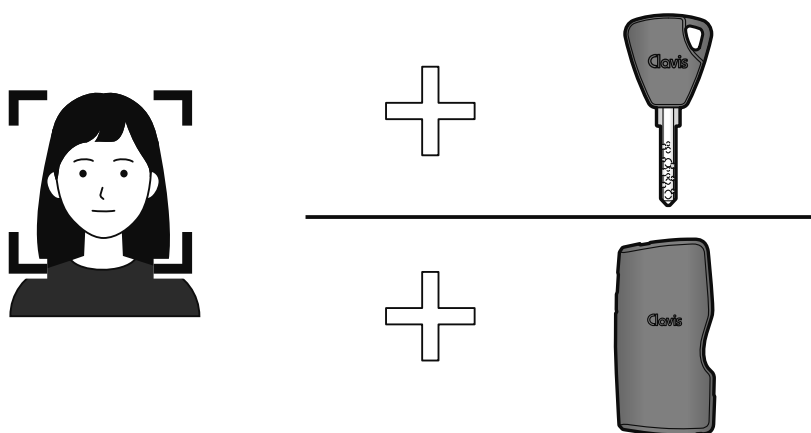
ダブル認証とは、FACE キーと、ハンズフリーキーまたは非接触キーの2つの要素で施錠／解錠ができる認証方法です。(17 ページ)

シングル認証



ダブル認証

※推奨

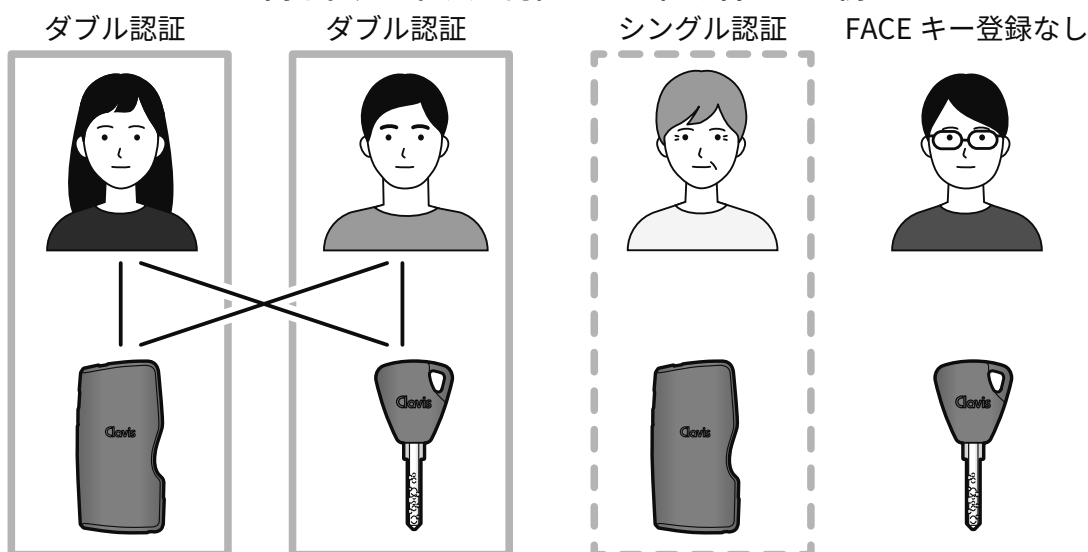


ダブル認証時、ダブル認証で登録済みの認証キーならどれでも認証できます。

- FACE キーの登録をしていない認証キーはシングル認証で、ダブル認証の対象外です。
- FACE キーの登録は、認証キー1つに対し、1つの顔が登録可能です。居住者人数分の認証キーが必要となります。
- 登録方法 (シングル認証／ダブル認証) は認証キーの使用者毎に自由に選択できます。

(20 ページ)

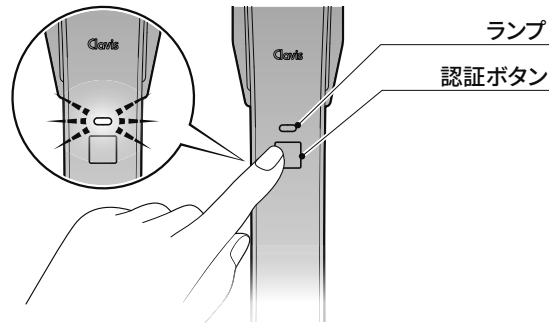
同じ住戸の住人と認証キーの組み合わせの例



: ダブル認証を行った組み合わせ
 : シングル認証を行った組み合わせ
 : ダブル認証で施錠／解錠が可能な組み合わせ

お使いになる前に

- 1 ハンズフリーキーを持ったままリーダ部の作動範囲内に入ります。(10 ページ)
- 2 リーダ部の認証ボタンを押します。



- 3 施錠／解錠時、以下のランプおよびブザーで動作状況をお知らせします。

動作状況	リーダ部ランプ	ブザー
解錠	赤色点灯 (1.5 秒)	ピピッ
解錠 (ハンズフリーキー電池少)	赤色点灯 (1.5 秒) 後 橙色点灯 (3 回) 後、赤色と橙色の交互点灯	ピピッ… ピーピー
施錠	緑色点灯 (1.5 秒)	ピッ
施錠 (ハンズフリーキー電池少)	緑色点灯 (1.5 秒) 後 橙色点灯 (3 回) 後、赤色と橙色の交互点灯	ピッ… ピーピー
ハンズフリーキー 未認証	赤色点滅 (3 回)	—
ハンズフリーキー 未登録	赤色点滅 (3 回)	ピーピー
施錠／解錠異常	赤色点灯 (4 秒)	ピー---

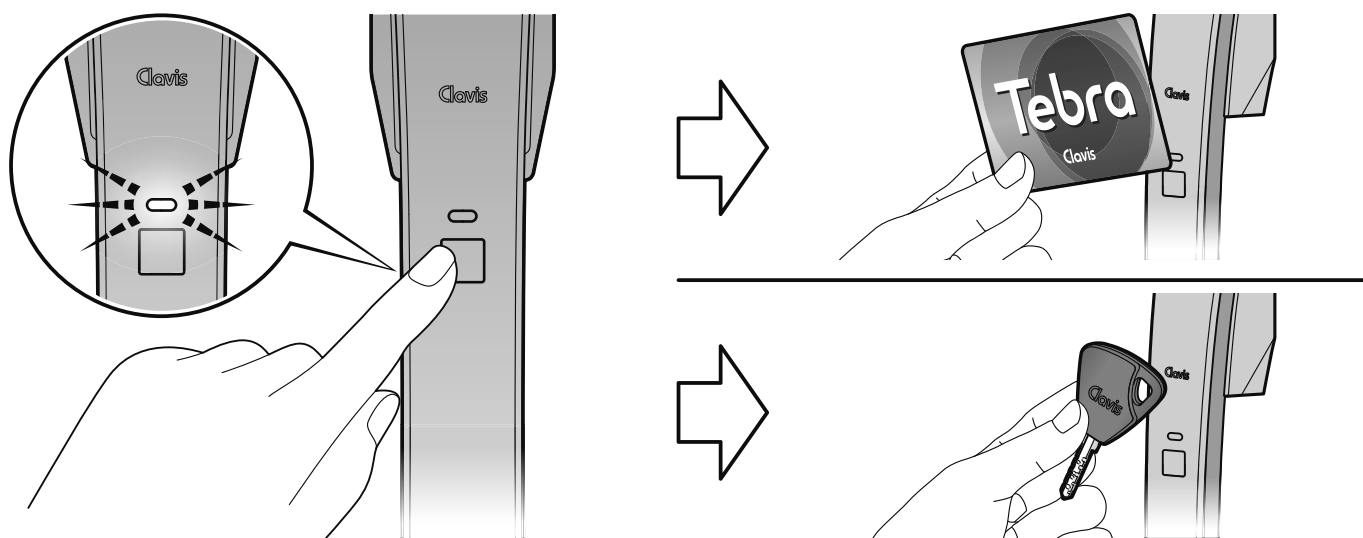
- 施錠／解錠異常のときは、再度、操作をやり直してください。
- 上記以外のランプ点灯／点滅およびブザーが鳴る場合もあります。
- 上下どちらかが施錠しているときは、認証ボタンを押すと解錠します。
- ハンズフリーキー電池少のときは、早めにハンズフリーキーの電池交換をしてください。そのまま使い続けると、ハンズフリー操作による施錠／解錠操作ができなくなります。

(28 ページ)

※ハンズフリーキーは、非接触キーとしてもご使用になれます。ハンズフリーキーに内蔵された IC チップも登録してください。(19 ページ)

1 リーダ部の認証ボタンを押し、非接触キーの認証範囲とリーダ部の「Clavis」マークを目安に合わせてかざします。

位置がずれ過ぎると認証されず、施錠／解錠ができません。



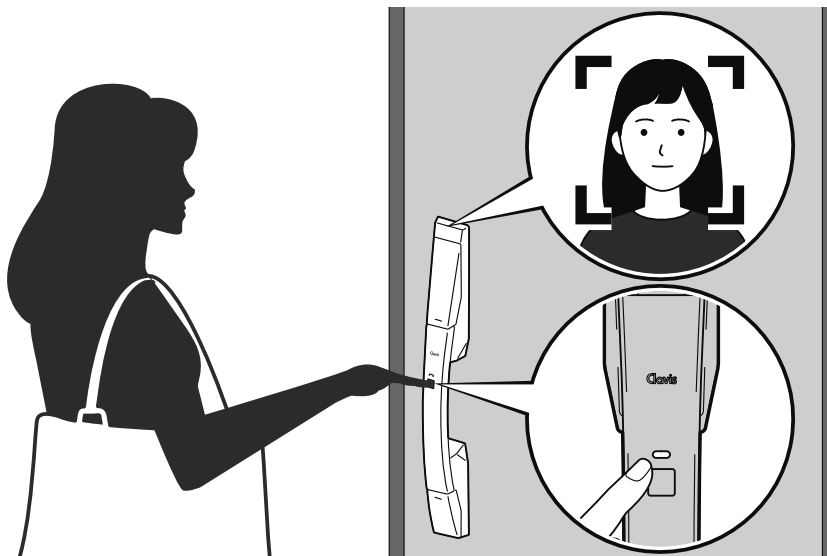
2 施錠／解錠時、以下のランプおよびブザーで動作状況をお知らせします。

動作状況	リーダ部ランプ	ブザー
解錠	赤色点灯 (1.5 秒)	ピピッ
施錠	緑色点灯 (1.5 秒)	ピッ
非接触キー未認証	赤色点滅 (3 回)	—
非接触キー未登録	赤色点滅 (3 回)	ピーピー
施錠／解錠異常	赤色点灯 (4 秒)	ピー---

使用方法

- 施錠／解錠異常のときは、再度、操作をやり直してください。
- 認証異常のときは、一度非接触キーをリーダ部の「Clavis」マークから離し、再度非接触キーをリーダ部の「Clavis」マークにかざしてください。
- 上記以外のランプ点灯／点滅およびブザーが鳴る場合もあります。
- 上下どちらかが施錠しているときは、認証ボタンを押し、非接触キーをリーダ部の「Clavis」マークにかざすと解錠します。

1 リーダ部の認証ボタンを押し、カメラに顔と視線を向けてください。

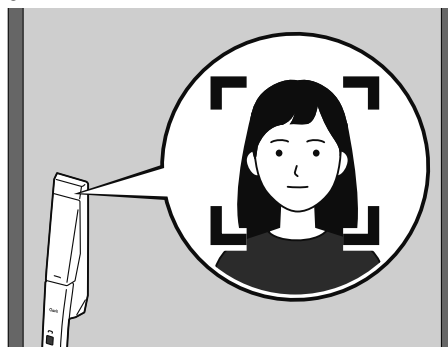


2 施錠／解錠時、以下のランプおよびブザーで動作状況をお知らせします。

動作状況	リーダ部ランプ	ブザー
解錠	赤色点灯 (1.5 秒)	ピピッ
施錠	緑色点灯 (1.5 秒)	ピッ
顔認証未認証	赤色点滅 (3 回)	—
施錠／解錠異常	赤色点灯 (4 秒)	ピー——

- 施錠／解錠異常のときは、再度、操作をやり直してください。
- 認証されない時は、マスク・サングラスなどで顔が隠れていないかご確認ください。
- 上記以外のランプ点灯／点滅およびブザーが鳴る場合もあります。
- 上下どちらかが施錠しているときは、カメラに顔と視線を向けて認証ボタンを押すと解錠します。
- 眉毛が髪などで隠れないようにしてください。

1 カメラに顔と視線を向けてください。

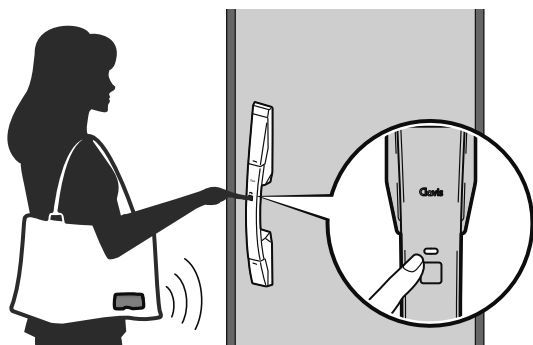


2 認証キーで認証します。

- ハンズフリー操作／タッチ操作両方に対応しています。
- ハンズフリー操作でダブル認証をする場合、ハンズフリーキー／非接触キーの両方を登録している必要があります。（19ページ）

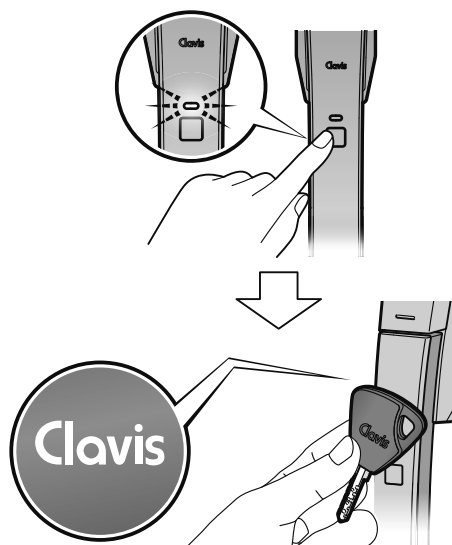
ハンズフリーキーをお持ちの場合

ハンズフリーキーを持ったままリーダ部の認証範囲内に入り、認証ボタンを押します。



非接触キーをお持ちの場合

リーダ部の認証ボタンを押し、非接触キーの認証範囲とリーダ部の「Clavis」マークを目安に合わせてかざします。



3 施錠／解錠時、以下のランプおよびブザーで動作状況をお知らせします。

動作状況	リーダ部ランプ	ブザー
解錠	赤色点灯（2回）	ピピッ
施錠	緑色点灯（2回）	ピッ
顔認証未認証／未登録	赤色点滅（3回）	—
施錠／解錠異常	赤色点灯（4秒）	ピー——

- 施錠／解錠異常のときは、再度、操作をやり直してください。
- 認証されない時は、マスク・サングラスなどで顔が隠れていないかご確認ください。
- 上記以外のランプ点灯／点滅およびブザーが鳴る場合もあります。
- 上下どちらかが施錠しているときは、カメラに顔と視線を向けて認証ボタンを押し、認証キーで認証すると解錠します。
- 眉毛が髪などで隠れないようにしてください。

Tebra 認証キーの登録方法

この製品は、複数 (*最大 16 個) の ID 媒体 (Tebra 認証キー) を登録できます。
ご使用前に Tebra 認証キーの再登録をおすすめします。

新たに Tebra 認証キーを追加購入した場合は、登録が必要です。

※：ただし、ハンズフリーキーおよび非接触キーは、それぞれ最大 8 個までです。

⚠ 注意

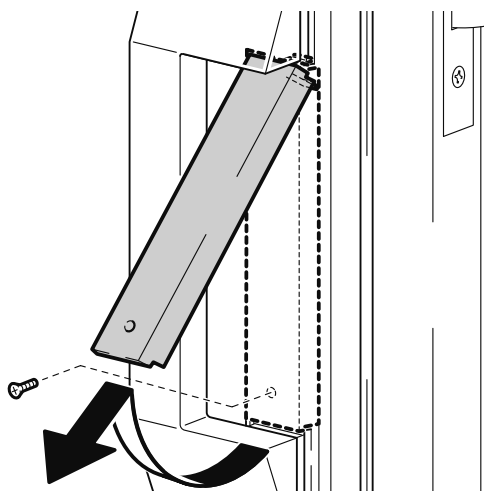
- 紛失した Tebra 認証キーを使えなくする場合、認証キーの抹消を行い、速やかに再登録を行ってください。([23 ページ](#))
- お使いになりたい Tebra 認証キーをすべて登録し直すことで、登録作業を行った Tebra 認証キーだけがお使いになれます。
(今までお使いの Tebra 認証キーでも、再登録を行わなかった場合、すべて使えなくなります)

Tebra 認証キーの ID 情報 / FACE キー情報の登録

1 新規で登録したい Tebra 認証キーをお手元にご用意ください。

2 室内側から制御部カバーを取りはずします。

ネジを取りはずし、カバー下部を手前にずらします。

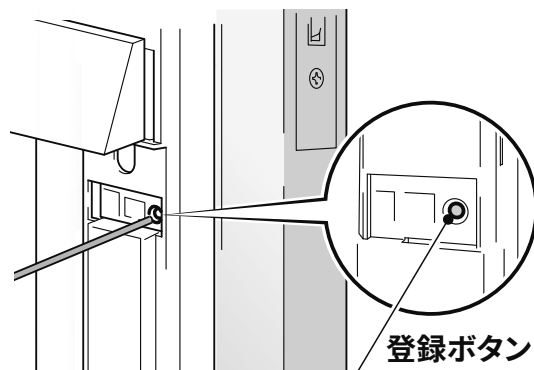


3 ロックをサムターンで解錠し、ドアを開けます。

※ロックを解錠していない状態では、登録作業は行えません。

4 制御部の登録ボタンを 2 秒以上押し続け、ID 登録・抹消モードにします。

- 先の細い棒状のもので押してください。
- ID 登録・抹消モード中はサムターンを回したり、ドアを閉めないでください。
- ID 登録・抹消モード中はリーダ部のランプが赤色点滅し続けます。



Tebra 認証キーの登録方法（続き）

動作状況	リーダ部ランプ	ブザー
ID 登録・抹消モード開始	緑色点灯（0.3 秒）	ピッ または ピピッ*
ID 登録・抹消モード中	赤色点滅	—

※：登録が1つ以上ある場合は「ピッ」登録が0の場合は「ピピッ」とブザーが鳴ります。

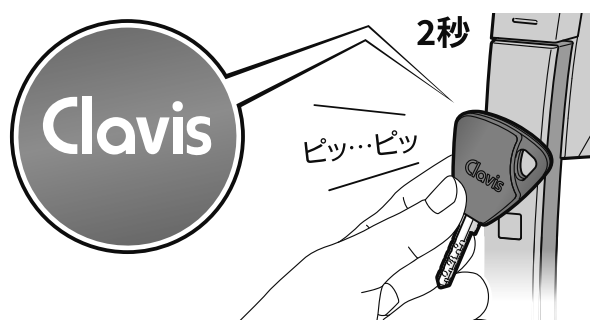
5 Tebra 認証キーの登録をします。

非接触キー（登録可能 ID キー数：最大 8 個）

リーダ部の「Clavis」マークに、登録する非接触キーを 2 秒以上、かざし続けます。

※キーの認証センサー範囲をご確認ください。（11 ページ）

- “ピッ…ピッ”とブザー*が鳴るまで非接触キーを「Clavis」マークから約 1cm 以上、離さないでください。
- かざした非接触キーのみ登録されます。（ブザーが鳴る前に非接触キーを「Clavis」マークから離すと、認証されません）

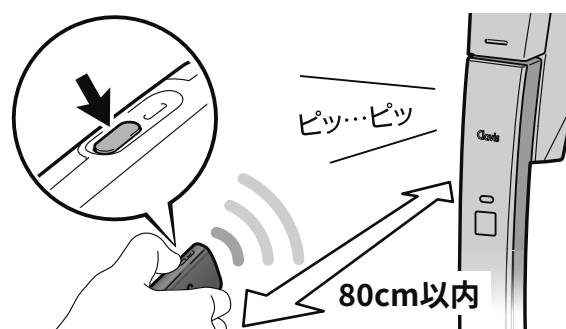


ハンズフリーキー（登録可能 ID キー数：最大 8 個）

最初にハンズフリーキーに内蔵された IC チップを、非接触キーと同様の方法（上記参照）で登録・動作確認を行ってください。

リーダ部の登録検知範囲内（約 80cm 以内）で、登録するハンズフリーキーの操作ボタンを 2 秒以上、押し続けます。

- “ピッ…ピッ”とブザー*が鳴るまでハンズフリーキーを登録検知範囲外に出さないでください。
- 操作ボタンを押したハンズフリーキーのみ登録されます。（ブザーが鳴る前にハンズフリーキーを登録検知範囲外に持ち出すと、認証されません）



※：登録件数によってブザーの鳴り方が異なります。21 ページの表をご参照ください。

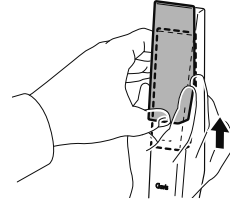
Tebra 認証キーの登録方法 (続き)

FACE キー (登録人数: 最大 16 人) ※ハンズフリーキー最大 8 人 / 非接触キー最大 8 人

FACE キーの登録には、登録済みの認証キー (非接触キーまたはハンズフリーキー) が必要です。 (19 ページ)

※ハンズフリー操作では、FACE キーの登録、認証ができません。FACE キーの登録はハンズフリーキーの非接触部で行ってください。

1. 1 ~ 4 の手順 (18 ページ) を行ったうえ、カメラ部のカバーをはずします。



2. カメラに顔と視線を向けて、カメラから 50cm 程度離れた状態でカメラ部の顔撮影ボタンを短押しします。

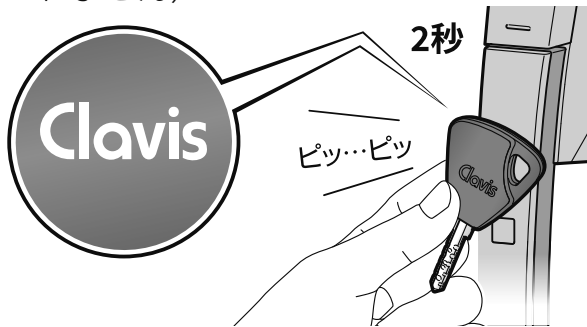
- “ピッ” とブザーが鳴り、ランプが青く光るまで、顔を認証範囲内から離さないでください。 (12 ページ)
- 撮影された顔のみが登録されます。(登録時の顔の位置は、FACE キー使用時と同じ位置で撮影してください。ブザーが鳴る前にカメラから顔を背けると、認証されません。)
- 眉毛が髪などで隠れないようにしてください。
- マスクやサングラスなど顔を覆い隠すものを装着しての登録はしないでください。



シングル認証登録の場合

3. リーダ部に、登録済みの認証キー (非接触) をかざします。

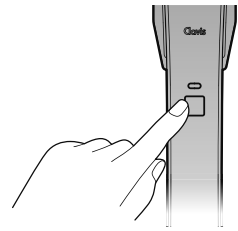
- “ピッ…ピッ” とブザー*が鳴るまで非接触キーを「Clavis」マークから約 1cm 以上、離さないでください。(ブザーが鳴る前に非接触キーを「Clavis」マークから離すと、認証されません)



ダブル認証登録の場合

3. 認証ボタンを短押しします。

- “ピピッ” とブザー音が鳴ると、LED が 2 回点滅し、ダブル認証登録モードを開始します。



4. リーダ部に、登録済みの認証キー (非接触) をかざします。

- “ピッ…ピッ” とブザー*が鳴るまで非接触キーを「Clavis」マークから約 1cm 以上、離さないでください。(ブザーが鳴る前に非接触キーを「Clavis」マークから離すと、認証されません)



※：登録件数によってブザーの鳴り方が異なります。次ページの表をご参照ください。

Tebra 認証キーの登録方法（続き）

6 すべての Tebra 認証キーに対して 5 の操作を行います。

- ロック解錠かつドアを開けた状態で、すべてのハンズフリーキーおよび非接触キー、FACE キー（任意）の登録を完了させてください。
- FACE キーの場合、1つの登録で登録モードを終了します。続けて登録する場合、4 の操作から行ってください。

ハンズフリーキー、非接触キーの場合

- リーダ部のランプをご確認ください。

動作状況		リーダ部ランプ	ブザー
ID 登録・抹消モード中		赤色点滅	—
ハンズフリーキー 認証時	1ID	最初のブザーが 鳴ってから 3 秒後に 緑色点灯（1.5 秒）	ピッ…ピッ
	2ID		ピッ…ピピッ
	3ID		ピッ…ピピピッ
	4ID		ピッ…ピピピピッ
	5ID		ピッ…ピーピッ
	6ID		ピッ…ピーピピッ
	7ID		ピッ…ピーピピピッ
	8ID		ピッ…ピーピピピピッ
非接触キー 認証時			ピピッ…***※
認証異常		赤色点滅（3 回）	ピー
登録件数エラー （8 ID 登録済み）		赤色・緑色が交互に点滅 （3 回）	ピーー

FACE キーの場合

- カメラ部のランプをご確認ください。

動作状況		カメラ部ランプ	ブザー
顔撮影 成功時		青色・赤色点灯後、青色点滅	ピッ
顔撮影 登録失敗時		赤色点滅（3 回）	ピーー
認証キー 認証時		赤色点滅（3 回）	ピピピッ…***※

※：非接触キー、FACE キーの場合は登録件数により「***」の部分が異なりますが、本表では省略させていただきます。

Tebra 認証キーの登録方法（続き）

Tebra 認証キーの ID 情報の登録確認

1 制御部の登録ボタンを押し、ID 登録・抹消モードを終了します。

- ・ “ピッ” とブザーが鳴り、ID 登録・抹消モードが終了します。
- ・ 15 秒間抹消・登録の操作がない場合、自動的に ID 登録・抹消モードが終了します。

動作状況	リーダ部ランプ	ブザー
ID 登録・抹消モード終了	—	ピッ

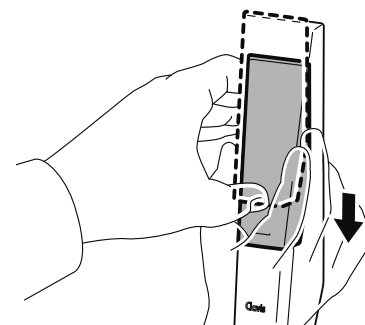
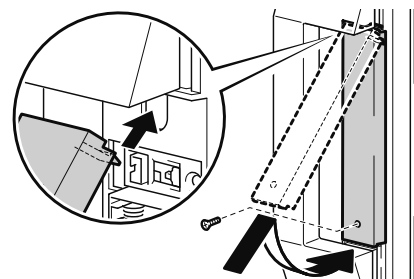
2 ID 情報を登録したすべての Tebra 認証キーで施錠／解錠操作を行い、正常に作動することを確認します。

（ハンズフリーキー： [14 ページ](#)、非接触キー： [15 ページ](#)、FACE キー： [16 ページ](#)）

確認する認証キー以外は作動範囲内（リーダ部から 2m 以内）に置かないでください。作動範囲内に複数の認証キーがある場合、確実な登録確認が行えません。

3 制御部カバー、カメラ部カバーを元にもどします。

- ・ 制御部カバー上部のツメを差し込み、浮いている側を本体にはめこみ、ネジを締めこみます。
- ・ カメラ部カバー下部のツメを差し込み、本体にはめこみます。



エントランスも Tebra 認証キーで開閉できる物件にお住まいのお客様へ

Tebra 認証キーの再登録を行った場合、エントランス用の制御盤も登録をやり直す必要があります。速やかにエントランス用の制御盤への再登録を行ってください。

（エントランス用の制御盤への再登録は、弊社サービス代行店までご連絡ください）

Tebra 認証キーの抹消方法

Tebra 認証キーの ID 情報 / FACE キー情報の抹消

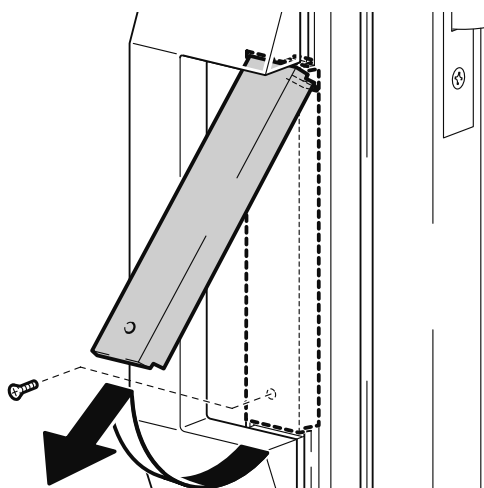
1 以下の物をお手元にご用意ください。

認証キーの抹消後、速やかに再登録を行うため必要になります。

- 今までお使いの Tebra 認証キー
- 新規で登録したい Tebra 認証キー

2 室内側から制御部カバーを取りはずします。

ネジを取りはずし、カバー下部を手前にずらします。

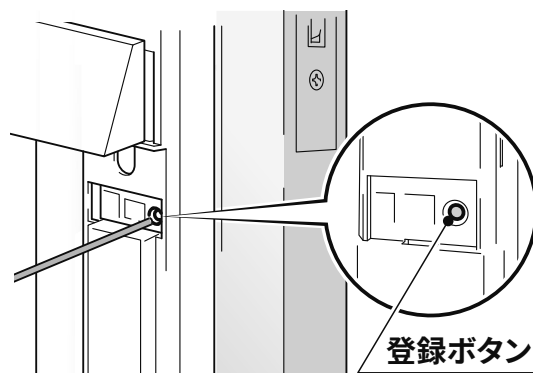


3 ロックをサムターンで解錠し、ドアを開けます。

※ロックを解錠していない状態では、登録作業は行えません。

4 制御部の登録ボタンを 2 秒以上押し続け、ID 登録・抹消モードにします。

- 先の細い棒状のもので押してください。
- ID 登録・抹消モード中はサムターンを回したり、ドアを閉めないでください。
- ID 登録・抹消モード中はリーダ部のランプが赤色点滅し続けます。



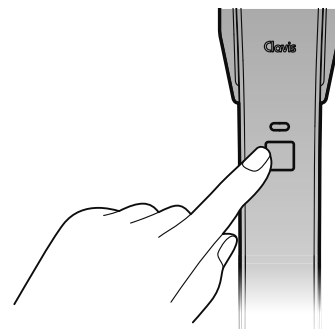
動作状況	リーダ部ランプ	ブザー
ID 登録・抹消モード開始	緑色点灯 (0.3 秒)	ピッ
ID 登録・抹消モード中	赤色点滅	—

Tebra 認証キーの抹消方法 (続き)

5 リーダ部の認証ボタンを2秒以上、押し続けます。

“ピッ・ピピッ”とブザーが鳴るまでボタンを押し続けてください。すべてのID情報が抹消されます。(ブザーが鳴る前にボタン操作を中断すると、ID情報が抹消されません)

※ FACE キー情報も抹消されます。



動作状況	リーダ部ランプ	ブザー
認証全消去	緑色点灯 (1.5 秒)	ピッ・ピピッ

6 制御部の登録ボタンを押し、ID登録・抹消モードを終了します。

- ・ “ピッ”とブザーが鳴り、ID登録・抹消モードが終了します。
- ・ 15 秒間抹消・登録の操作がない場合、自動的にID登録・抹消モードが終了します。

● ID情報が抹消された Tebra 認証キーは、そのままでは使用できません。

すぐに再登録を行ってください。([18～22 ページ](#))

※ FACE キー情報も再登録が必要です。

動作状況	リーダ部ランプ	ブザー
ID登録・抹消モード終了	—	ピッ

操作電源盤について

ドアから離れた居住空間から、来客対応のドアの施錠／解錠操作や、ドアの状態を確認することができます。

操作電源盤操作時、Teбра 認証キーは使いません。


操作電源盤での施錠／解錠


施錠

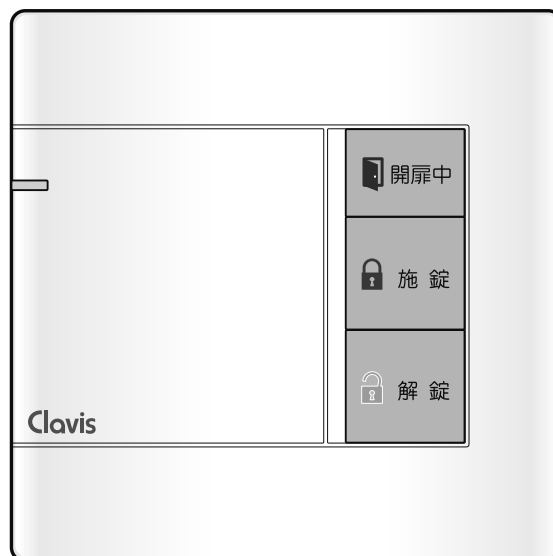
操作電源盤の「 施錠」ボタンを押すと、施錠されます。

施錠時はすべてのランプが消灯します。

解錠

操作電源盤の「 解錠」ボタンを押すと、解錠されます。

- 解錠中、「 解錠」ランプ（橙色）が点灯し続けます。
- 解錠後、約 25 秒以内にドアを開けないと自動的に施錠されます。



ドアの状態確認

以下のランプの点灯／点滅で、ドアの状態についてお知らせします。

- ドアを閉め、施錠すると消灯します。

状況	連続ランプ
解錠	「  解錠」(橙色) が点灯
片側施錠	「  解錠」(橙色) が点滅
施錠	全ランプ消灯
ドア開 (解錠)	「  開扉中」(橙色) と 「  解錠」(橙色) が同時に点灯
ドア開 (施錠)	「  開扉中」(橙色) と 「  解錠」(橙色) が交互に点滅

警備連動機能について

警備連動機能は家屋侵入を完全に防止するものではありません。
万が一の場合の保証はございませんので、ご了承ください。

本機能は、警備会社の警備システムをセット／解除する機能です。警報発報信号は、管理事務室・契約警備会社などへ発信されますが、お住まいの住居の契約状況により異なります。詳細は、建物の管理責任者・管理会社へご確認ください。

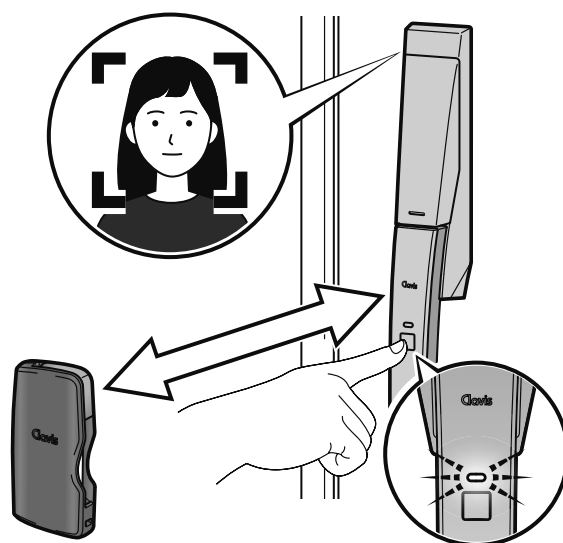
⚠ 注意

- アナログキーまたはキーによる警備解除の可否につきましては、お住まいの住居の契約状況により異なるため、契約警備会社にお問い合わせください。
- 万一、停電時またはハンズフリーキーの電池切れ、紛失、非接触キーの紛失などにより警備連動機能が解除できない場合は、建物の管理責任者・管理会社または警備会社に連絡してください。
- 操作電源盤を用いず、ACアダプターから電源共有する場合は、警備機能が使用できません。

ハンズフリーキー・FACE キーによる警備連動機能セット／解除

セットのしかた

- 1 ハンズフリーキーを持っていることを確認し、ドアを閉めます。FACE キー（シングル認証／ダブル認証）を使用する場合は、ドアを閉め、カメラに顔と視線を向けます。
- 2 認証ボタンを押し、施錠します。施錠動作後も認証ボタンを2秒以上、押し続けます。
 - “ピピピッ”とブザーが鳴るまでボタンを押し続けてください。
 - ブザーが鳴る前にボタン操作を中断したり、ハンズフリーキーを外部リーダの登録検知範囲（約80cm以内）より外に持ち出さないでください。認証異常となり、警備連動機能がセットできない場合があります。
 - FACE キーの場合は、ブザーが鳴る前にボタン操作を中断したり、カメラから顔を背けないでください。認証異常となり、警備連動機能がセットできない場合があります。
 - ハンズフリーキーの電池切れ警告時、警備連動機能がセットできない場合があります。
- 3 警備連動機能がセット完了すると、ランプ（緑色）が3回、点滅します。



解除のしかた

- 1 ハンズフリーキー／FACE キーを使用し、電氣的な解錠をします。
(ハンズフリーキー：14 ページ、
FACE キー：16 ページ)
- 2 電氣的な解錠と同時に警備連動機能が解除されます。

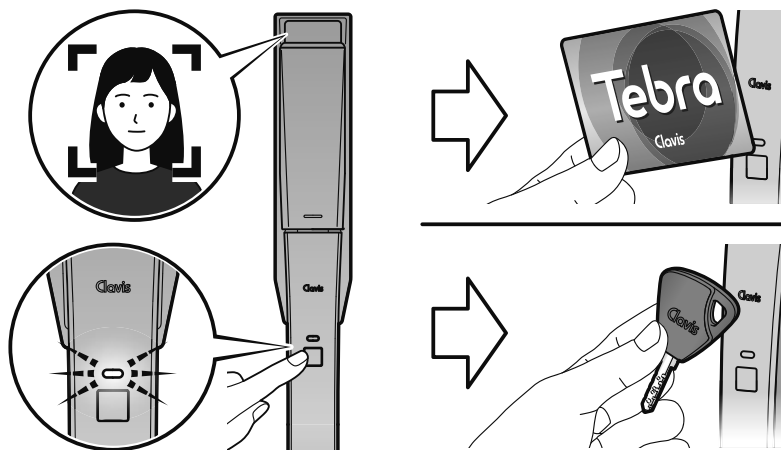


警備連動機能について（続き）

非接触キー・FACE キーによる警備連動機能セット／解除

セットのしかた

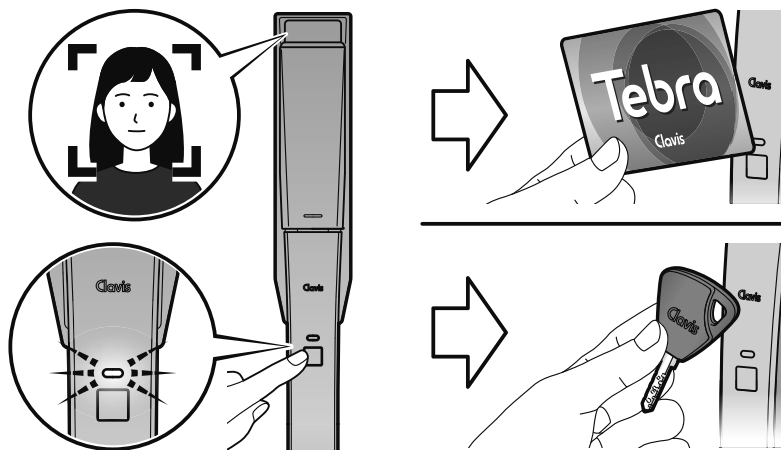
- 1 非接触キーを持っていることを確認し、ドアを閉めます。FACE キー（ダブル認証）を使用する場合は、ドアを閉め、カメラに顔と視線を向けます。
- 2 認証ボタンを押し、「Clavis」マーク部分に非接触キーをかざし施錠します。施錠動作後も継続して非接触キーを2秒以上、かざし続けます。
 - “ピピピッ”とブザーが鳴るまで非接触キーを「Clavis」マークから1cm以上、離さないでください。
 - ブザーが鳴る前に非接触キーを「Clavis」マークから離さないでください。認証異常となり、警備連動機能がセットできない場合があります。
 - FACE キーの場合は、ブザーが鳴る前にボタン操作を中断したり、カメラから顔を背けないでください。認証異常となり、警備連動機能がセットできない場合があります。



- 3 警備連動機能がセット完了すると、ランプ（緑色）が3回、点滅します。

解除のしかた

- 1 非接触キー／FACE キーを使用し、電氣的な解錠をします。
（非接触キー： [15 ページ](#)、FACE キー： [16 ページ](#)）



- 2 電氣的な解錠と同時に警備連動機能が解除されます。

ハンズフリーキーの電池切れ警告について

ハンズフリーキーの電池残量が少なくなると、以下のように動作確認ランプでお知らせします。電池残量無の場合、ハンズフリー認証はできませんが、内蔵されているICチップで非接触認証ができます。

	動作状況	リーダ部ランプ	ブザー
リーダ部	解錠 (ハンズフリーキー電池少)	赤色点灯 (1.5 秒) 後 橙色点灯 (3 回) 後、赤色と橙色の交互点灯	ピピッ… ピーピー
	施錠 (ハンズフリーキー電池少)	緑色点灯 (1.5 秒) 後 橙色点灯 (3 回) 後、赤色と橙色の交互点灯	ピッ… ピーピー
ハンズフリーキー	施錠／解錠 (ハンズフリーキー電池少)	ハンズフリーキーの動作確認ランプが赤色点灯 (0.5 秒)	—
	施錠／解錠 (ハンズフリーキー電池残量無)	ハンズフリーキーの動作確認ランプは点灯しません。	—

電池交換後は、電池切れ警告が現れないことを確認してください。



危険

電池および取りはずした部品をお子さまに触らせたり、お子さまが飲み込んだりしないよう、十分注意してください。



注意

- ご入居の際に渡されたハンズフリーキーに内蔵されている電池は、動作確認用の電池です。
はじめてお使いになる前に電池交換されることをおすすめします。
- 指定の電池（コイン型リチウム電池 CR2032）をご使用ください。
- ハンズフリーキーの電池寿命は約 2 年間（施錠／解錠を 1 回として、1 日 10 回使用した場合）ですが、電池切れにならなくても 2 年ごとに新しい電池と交換してください。
電池の液漏れや腐食により故障の原因となる場合があります。
- ハンズフリーキーは常時電波を受信しているため、全く使用しない場合でも電池を消耗します。また、強い電波を受信し続けた場合に電池を著しく消耗することがありますので、テレビ・パソコンなどの家電製品の近くに長時間放置しないでください。
- 電池交換する際は、一度ドアノブなどの金属物を触って静電気を逃がしてから行ってください。また、セーターなど静電気がたまりやすい衣類を着たまま行わないでください。
静電気を体内に帯電させた状態で電池交換を行うと、ハンズフリーキーの部品が故障するおそれがあります。
- 電池交換は電子部品保護のため、濡れた手、汚れた手で行わず、必ず次ページの方法にしたがって行ってください。

ハンズフリーキーの電池交換／カラーチップの取り付け

キーの判別のため、購入した際に付属のカラーチップを取り付けてください。

(Tebra キー／Tebra one キーのみ)

電池が消耗してくると、電池切れ警告 (28 ページ) が現れます。その場合は速やかに電池を交換してください。

使用電池：コイン型リチウム電池 CR2032

電池はカメラ店、家電販売店などでお買い求めになれます。

電池交換／カラーチップの取り付け方法

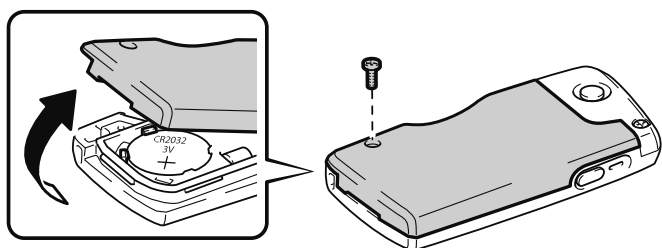
取りはずした部品の紛失、破損に注意しながら行ってください。

1 一度ドアノブなどの金属物を触って、体内の静電気を逃がします。

2 裏面のネジを取りはずし、カバーを取りはずします。

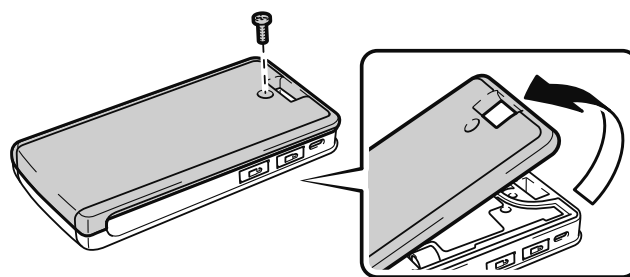
ドライバーはホームセンターなどでお買い求めになれます。

Tebra キー
Tebra one キー 0番プラスドライバー

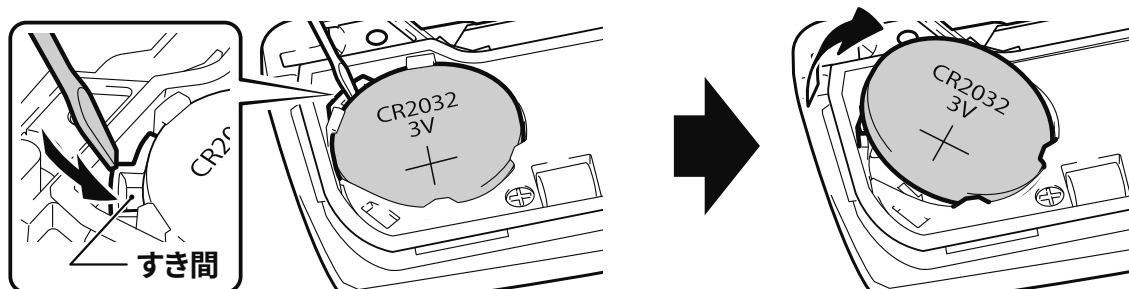


溝部にコインなどを差し込み取りはずす

Tebra タグ
Tebra one タグ 1番プラスドライバー

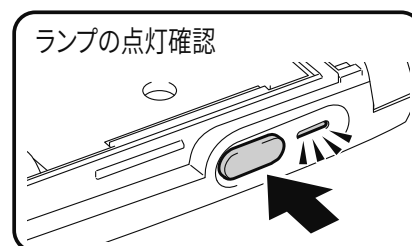
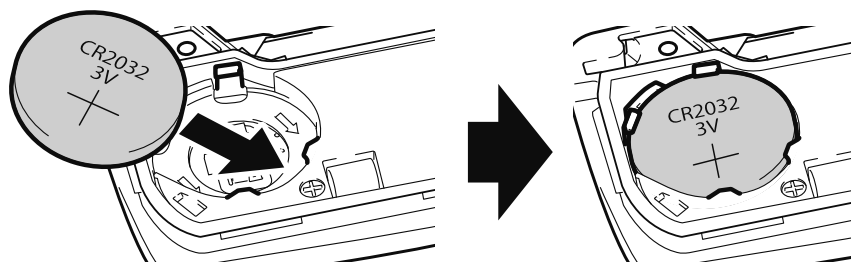


3 マイナスドライバーをすき間に差し込み、起こすようにして古い電池を取りはずします。



4 新しい電池を差し入れ、動作確認をします。

(+) が上になるように取り付けます。

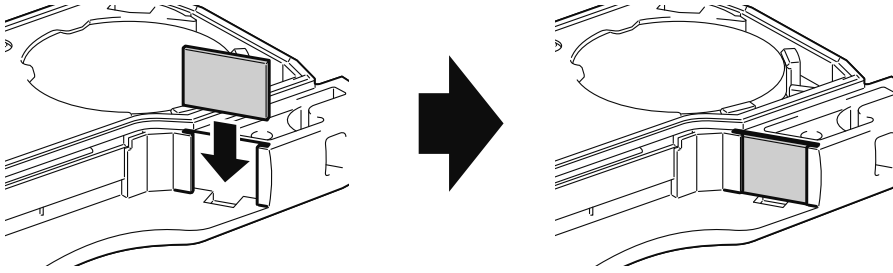


お困りのときは

ハンズフリーキーの電池交換／カラーチップの取り付け(続き)

- 5** お好きな色の付属のカラーチップを台紙から取りはずし、スライドしてはめ込みます。
(Tebra キー／ Tebra one キーのみ)

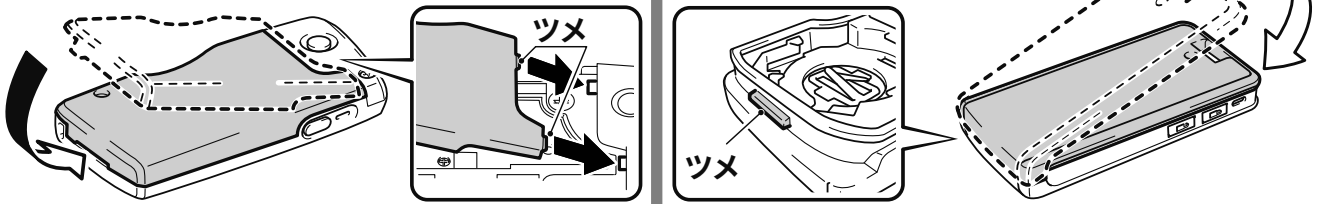
カラーチップの印刷面をこすると、印刷がはがれる恐れがあります。ご注意ください。



- 6** カバーを元にもどし、ネジを締め込みます。

Tebraキー
Tebra oneキー ツメを差し込み、浮いている側をキー本体に「パチン」と音がするまではめ込む

Tebraタグ
Tebra oneタグ ツメを合わせて閉める



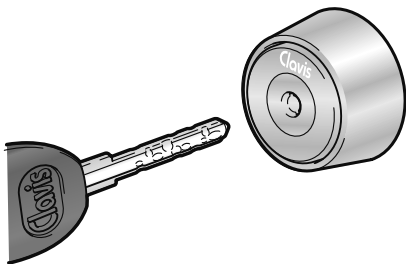
本体の電源供給の特性

停電やブレーカーを落とした場合など、電源供給が停止すると、動作できません。(電池は使用しません)



注意

Tebra FACE は停電時、使用できません。手動操作でロックを施錠／解錠してください。([31 ページ](#))



Tebra 認証キーを紛失した場合

対処のしかた



注意

防犯上、Tebra 認証キーを紛失されたときは、認証キーの抹消を行い、速やかに再登録を行なってください。(**23 ~ 24 ページ**)
ID 情報を抹消することで、紛失した Tebra 認証キーでは認証施錠 / 解錠できなくなります。

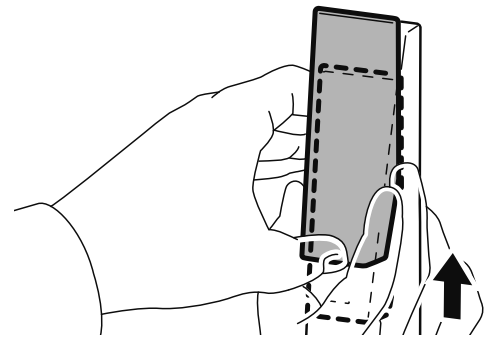
キーの追加購入について

本書末尾の保証書に記載のサービス代行店までお問い合わせください。

停電で作動しない場合

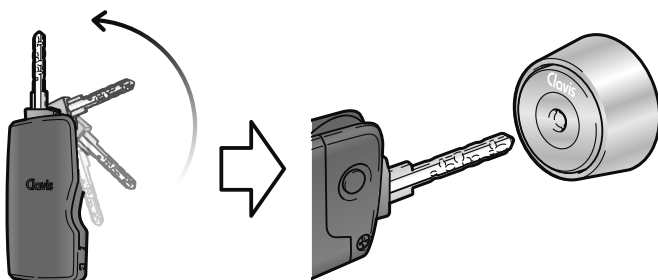
停電などで Tebra 認証キーによる電気錠での施錠 / 解錠ができなくなった場合、手動で施錠 / 解錠してください。

室外側はシリンダーカバーをはずしてから施錠 / 解錠します。



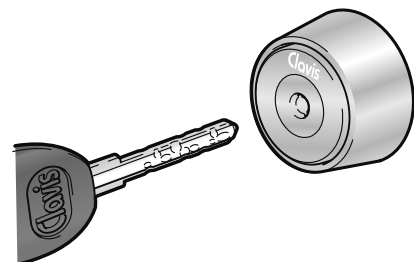
室外側 (Tebra キー)

Tebra キーのアナログキー (**8 ページ**) をシリンダーに差し込みます。



室外側 (その他の Tebra 認証キー)

キーをシリンダーに差し込みます。



故障かな？とお考えになる前に

表の内容を確認しても正常に作動しない場合は、弊社サービス代行店にご連絡ください。

全体項目

状態	考えられる原因	処置	参照ページ
リーダ部の認証ボタンを押しても作動しない。 ・ランプが橙色点滅し、“ピーピー”とブザーが鳴った。 ・リーダ部のランプが点灯しない。	電源スイッチが OFF になっている。	電源スイッチを ON にしてください。	7
	停電などによりシステムに電源が供給されていない。	ブレーカーが落ちていないか確認してください。他の電気機器などの作動も確認してください。	—
施錠／解錠ができない。	ドアが完全に閉まりきっていない。	ドアを閉めてください。	—
	室内換気を行っている。	室内の圧力差による現象です。(故障ではありません)	3
施錠／解錠時、リーダ部のランプが赤色点灯(4秒)し、“ピー”とブザー(3秒)が鳴り続けた。	ドアの施錠／解錠異常です。	ドアがしっかり閉まっていることを確認し、再度 Tebra 認証キーを使用し、施錠／解錠確認をしてください。 (サムターンを使用しても施錠／解錠できない場合は、ドア全体の調整が必要となりますので、速やかに建築物の管理責任者・管理会社、施工業者または建具メーカーに連絡してください)	—
連動施錠されない。	停電または下側のロックを手動施錠した。	停電時以外は Tebra 認証キーで施錠するか、上側のロックを手動施錠してください。 (停電時は連動施錠されません)	4

故障かな？とお考えになる前に（続き）

ハンズフリーキー

状態	考えられる原因	処置	参照ページ	
リーダ部の認証ボタンを押しても作動しない。	ハンズフリーキーが作動範囲にない。	ハンズフリーキーを持っているか確認してください。	10	
	ハンズフリーキーに電池が入っていない。	電池を入れてください。（コイン型リチウム電池 CR2032）	29	
	ハンズフリーキーが6秒以上、静止している。	ハンズフリーキーを揺らしながら操作してください。	5	
	ハンズフリーキーの電池残量が少ない。（電池残量が少ないときは、動作ランプでお知らせします 28 ページ ）	新しい電池に交換してください。（コイン型リチウム電池 CR2032）		29
		タッチ操作で施錠／解錠してください。		15
		アナログキーで施錠／解錠してください。		7、8 31
	複数のハンズフリーキーを作動範囲内で同時に使用している。	ハンズフリーキーは1つだけ使用してください。		2
ハンズフリーキーが登録されていない。	ハンズフリーキーを登録してください。（ID情報を抹消した場合、すべてのハンズフリーキーの再登録が必要です）		18 19	
ハンズフリーキーのID情報の抹消・再登録ができない。	ID登録・抹消モードになっていない。	ID登録・抹消モードにしてください。	18	
ハンズフリーキーのID情報の抹消ができない。	リーダ部の認証ボタンを2秒以上、押し続けていない。	“ピッ・ピッ”とブザーが鳴るまでボタンを押し続けてください。	24	
ハンズフリーキーが登録ができない。	リーダ部の登録検知範囲内でハンズフリーキーの操作ボタンを2秒以上、押し続けていない。	リーダ部の登録検知範囲内で“ピッ…ピッ”とブザーが鳴るまで登録ボタンを押し続けてください。	19	
	最大登録数（8個）を超えている。	—	18	

故障かな？とお考えになる前に（続き）

状態	考えられる原因	処置	参照ページ
タッチ操作による施錠／解錠ができない。	ICチップの登録がされていない。	ICチップの登録をしてください。	19
タッチ操作による動作確認ができない。	先にハンズフリー登録をしている。	ハンズフリー登録の前にICチップの登録・動作確認をしてください。	19

非接触キー

状態	考えられる原因	処置	参照ページ
施錠／解錠ができない。	非接触キーをリーダ部に正しくかざしていない。	非接触キーの認証範囲とリーダ部の「 Clavis 」マークを目安に合わせてかざします。	15
	複数の Tebra 認証キーを同時に使用している。	Tebra 認証キーは1つだけ使用してください。	2
	非接触キーが登録されていない。	非接触キーを登録してください。（ID情報を抹消した場合、すべての非接触キーの再登録が必要です）	19
非接触キーのID情報の抹消・再登録ができない。	ID登録・抹消モードになっていない。	ID登録・抹消モードにしてください。	18
非接触キーのID情報の抹消ができない。	リーダ部の認証ボタンを2秒以上、押し続けていない。	“ピッ・ピッ”とブザーが鳴るまで認証ボタンを押し続けてください。	24
非接触キーの登録ができない。	リーダ部の「 Clavis 」マークに、非接触キーを2秒以上、かざし続けていない。（約1cm以内）	“ピッ…ピッ”とブザーが鳴るまで非接触キーをかざし続けてください。	19

故障かな？とお考えになる前に（続き）

FACE キー

状態	考えられる原因	処置	参照ページ
施錠／解錠ができない。	認証範囲(約50cm)に入っていない。	認証範囲内に入ってください。	12
	サングラス・マスクなどを装着している。	顔を覆い隠すようなものは装着しないでご使用ください。	4
	カメラ部が汚れている。	カメラ部を柔らかい布で乾拭きしてください。	6
	顔の変化。 (子供の成長など)	顔登録の更新を行ってください。	20
FACE キーの登録ができない。	顔撮影完了前に顔を背けている。	“ピッ”とブザーが鳴るまでカメラに顔と視線を向けてください。	20
	非接触キーをかざしていない。	顔撮影完了後、登録済みの非接触キーをかざしてください。(ハンズフリー操作では登録できません)	20
	非接触キーが登録されていない。	非接触キーを登録してください。(ID情報を抹消した場合、すべての非接触キーの再登録が必要です)	19
ダブル認証の登録ができない。	顔撮影完了後、認証ボタンを押していない。	顔撮影完了後、非接触キーをかざす前に認証ボタンを押してください。(押さずにかざした場合、シングル認証での登録になります)	20

Tebra 認証キー共通

状態	考えられる原因	処置	参照ページ
Tebra 認証キーの登録ができない。	最大登録数(それぞれ8個)を超えている。	—	18

故障かな？とお考えになる前に（続き）

状態	考えられる原因	処置	参照ページ
施錠／解錠ができない。	ID登録・抹消モードになっている。	ID登録・抹消モードを終了してください。	22

警備連動機能

オプション

状態	考えられる原因	処置	参照ページ
ハンズフリーキーで警備連動機能がセットできない。	リーダ部の認証ボタンを2秒以上、長押ししていない。	“ピピピッ”とブザーが鳴るまでボタンを押し続けてください。	26
	リーダ部の登録検知範囲（約80cm以内）外にハンズフリーキーを持ち出した。	リーダ部の登録検知範囲内で“ピピピッ”とブザーが鳴るまでボタンを押し続けてください。	26
	ハンズフリーキーの電池残量が少ない。	新しい電池に交換してください。（リチウム電池 CR2032）	29
非接触キーで警備連動機能がセットできない。	リーダ部の「 Clovis 」マークに非接触キーを2秒以上かざし続けない。（約1cm以内）	“ピピピッ”とブザーが鳴るまで非接触キーをかざし続けてください。	27
FACEキーで警備連動機能がセットできない。	認証範囲（50cm）に入っていない。	認証範囲内で“ピピピッ”とブザーが鳴るまでボタンを押し続けてください。	12
	リーダ部の認証ボタンを2秒以上、長押ししていない。	“ピピピッ”とブザーが鳴るまでボタンを押し続けてください。	26 27
警備連動機能が解除できない。	アナログキー／キーで解錠した。*	Tebra認証キーを使用し、電気的な解錠をしてください。	27
警備会社に通報された。	アナログキー／キーで解錠し、そのままドアを開けた。*	Tebra認証キーで解錠し直し、建物の管理責任者・管理会社または警備会社に連絡してください。	27

※：アナログキー／キーによる警備解除の可否については、お住まいの住居の契約状況によって異なります。

ご使用になる前に警備会社等にお問い合わせください。

■ リーダ本体仕様

送信周波数	ハンズフリー	125.0kHz
	非接触	13.56MHz
登録可能 ID キー数		最大 16 個※
顔認証	登録人数	最大 16 人
	同時認証人数	1 人

※：ただしハンズフリーキー／非接触キーは、それぞれ最大 8 個までです。

■ ハンズフリーキーの仕様

使用電池	コイン型リチウム電池 CR2032 (DC3V)
送信周波数	315MHz
動作電流	最大 14mA
電池寿命	約 2 年 (施錠／解錠を 1 回として 1 日 10 回使用した場合)

■ 交信性能

ハンズフリー交信範囲	約 80cm
非接触交信範囲	約 1cm

■ 使用環境

使用温度範囲	- 10°C ~ 50°C
使用湿度範囲	30 ~ 90% RH (結露／氷結無きこと)

保証書

この度は当社製品をお買い上げ頂きありがとうございます。本保証書は、品質保証事項に記載の規定によります。保証期間内に故障した場合は下記取扱店に修理をご依頼下さい。尚、修理の際には本書をご提示下さい。

品質保証事項

- 保証内容：通常取り扱いによって生じる品質不良、性能及び機能の低下によるもので、かつ当社が認定したもの
- 保証期間：製品のお買い上げ日より2年間
 - お買い上げ日を本書にご記入ください。
 - サービス代行店からのお買い上げ日が特定できる書類などを大切に保管してください。サービス代行店からのお買い上げ日が特定できる書類が無い場合は、勝手ではありますが、当社商品に記載している年月を保証開始時期の目安とさせていただきます。
- 保証適用地域：保証運用範囲地域の限界は、下記サービス代行店の行動範囲内(100 km以内)とします。
この範囲を超える遠隔地及び離島・山頂等の地域への出張により修理・交換を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- 免責事項：原因が次の様な場合は保証期間内であっても有償修理となります。
 - 本書の提示がない場合
 - ご使用開始以前の保管・輸送・設置配線工事に起因する故障、および損傷
 - 他の機器からの異常電圧・電流を受けたことによる故障、および損傷
 - 電池の入れ間違い等ご使用上の間違いや破損
 - 電池の交換
 - コピーしたキーに起因する不具合
 - 使用者もしくは第三者の誤り、または不当な修理や改造によるもの
 - 本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合または使用目的と異なる使用方法をされた場合の不具合
 - 錠以外の商品または部品(扉、丁番、ドアクローザなど)に起因する錠の不具合
 - 商品または部品の経年変化(使用に伴う消耗、磨耗など)や経年劣化(樹脂部品の変質、変色など)またはこれらに伴うさび、その他の不具合
 - 鍵穴への異物(例えば、針金、マッチ棒など)挿入、注油、昆虫の侵入、ほこりによる不具合
 - 商品周辺の自然環境、住環境などに起因する腐食またはその他の不具合(例えば塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起きる腐食。異常な高温・低温・多湿による不具合など)
 - 天災その他の不可抗力(例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、津波、噴火、洪水、地盤沈下、火災など)に起因する不具合
 - 犯罪などの不法な行為(ピッキング、バールなどの道具によるこじ開けなど)に起因する破損や不具合
- 電気錠耐用年数：引き渡し後あるいは購入後より7年間
 - 耐用年数とは、製品の基本性能を保守・点検により維持できる取り替えまでの目安の期間として日本ロック工業会が定めたもので、製品の保証(無償修理)期間とは異なります。
 - お買い上げ日を本書にご記入の上、領収書などお買い上げ日が分かる書類を保管ください

上記品質保証は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan

消耗品(電池等)は保証対象外となります。

※ 本書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、取扱店へお問合せ下さい。

※ 本書は再発行致しませんので、全てご記入のうえ大切に保管して下さい。

サービス代行店名・住所・電話番号	お買い上げ日 年 月 日
	保証期間 お買い上げ日より2年間

株式会社シブタニ クラビス事業部

Clavis

URL: <https://www.clavis.jp>

株式会社ラブリニ

本サービスの最新情報は弊社 Clavis ホームページでご確認ください。



HP はこちら